# ZEUSCloud 分析利用マニュアル Web 編

# 文書管理

日付	作成者	版	補足
2019/09/18	ZEAL 髙橋	1.0	初版作成
2020/09/28	ZEAL	1.1	ZEUS→ZEUSCloud へ名称変更
2021/03/16	ZEAL	1.2	画面キャプチャの差し替え、
			ドシエの操作手順の追記

	目次
ZEUSCloud 分析利用マニュアル Web	編 1
文書管理	2
目次	3
1 はじめに	6
2 基本説明	7
2.1 本研修で使用するデータ構造	7
2.2 用語説明	7
3 分析サービスへの接続	8
3.1 分析サービスへの接続	8
4 ドシエ作成 -基礎	
4.1 ドシエの作成	
4.2 アトリビュートの選択と配置	
4.3 メトリックの選択と配置	
4.4 フィルターの選択と配置	
4.5 ビジュアリゼーションの追加	と移動18
4.6 ビジュアリゼーションの名前	の変更
4.7 ビジュアリゼーションの変更	
4.8 ドシエ保存	
4.9 ビジュアリゼーションの概要	
5 ドシエ作成 -応用	31
5.1 合計表示	31
5.2 書式設定	33
5.3 派生アトリビュートの作成	
5.4 派生メトリックの作成	
5.5 数値の書式	39
5.6 テキスト配置	41
5.7 ページ追加	
5.8 ページ複製	43
5.9 ページ削除	44
5.10 チャプター追加	45
5.11 チャプター削除	46
5.12 エクスポート	
5.13 セレクター追加	
5.14 カバー変更	55
5.15 ラベルの表示切替	57
5.16 しきい値の作成	59

5.17	自由形式レイアウト	61
5.18	ビジュアライゼーションのフィルタ	63
5.19	同じチャプター内のフィルタ	67
5.20	フィルタの適用範囲	69
6 レス	ポート作成 -基礎	71
6.1	レポートの作成	71
6.2	アトリビュートの選択と配置	72
6.3	メトリックの選択と配置	75
6.4	レポート実行	77
6.5	レポート保存	78
7 レス	ポート作成 -応用	80
7.1	オートスタイル	80
7.2	並び替え	82
7.3	合計表示	84
7.4	書式設定	85
7.5	ページバイ	87
7.6	ドリル	89
7.7	エクスポート	92
7.8	フォルダ作成	94
7.9	レポートコピー	96
8 13	キュメント -基礎	98
8.1	ドキュメントの作成(レポートをデータセットとして作成)	98
8.2	グリッド表の追加	101
8.3	アトリビュートの選択と配置	103
8.4	メトリックの選択と配置	105
8.5	セレクタの追加	107
8.6	オートスタイル	110
8.7	ドキュメント実行	111
8.8	保存	112
9 ドミ	キュメント -応用	114
9.1	編集可モード	114
9.2	派生アトリビュートの作成	115
9.3	派生メトリックの作成	118
9.4	書式設定	120
9.5	余分な列の削除	122
10 t	ごジュアリゼーション(参考)	125
10.1	複合グリッド	
10.2	KPI	126

10.3	領域グラフ	127
10.4	バブルグラフ	128
10.5	ヒートマップ	128
10.6	地理情報システム	129
10.7	ネットワーク	131
10.8	ヒストグラム	132
10.9	ボックスプロット	133
10.10	ウォーターフォール	133

# 1 はじめに

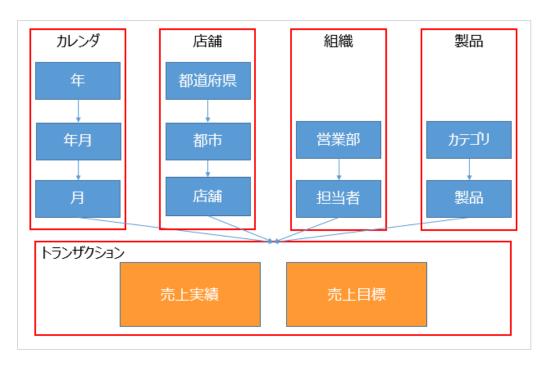
本資料は、ZEUSCloud の分析者向け資料となります。ZEUSCloud 分析機能を使用した、ドシエ、レポート、ドキュメントの作成方法を記載しています。

レポート管理者が準備する部品 (アトリビュート/メトリック等) の作成方法については、 本資料の範囲外となります。

※本資料で使用するデータおよびレポート部品については、事前に準備しています。

# 2 基本説明

## 2.1 本研修で使用するデータ構造



#### 2.2 用語説明

#	用語	説明
1	アトリビュート	・レポートの部品となるもの、分析軸
1		・年月、部署、勘定科目など
2	メトリック	・レポートの部品となるもの、数字 (KPI)
		・金額、売上、費用など
0	プロンプト	・レポート実行前に、データの絞込み(例:年月で絞る)を
3		行うために使用する。
4	レポート	・主にグリッド表形式で表現する場合に使用する画面
-	ドシエ	・主にグラフ形式で表現する場合に使用する画面
5		・複数データソースを使用することが可能
6	ドキュメント	・細かい部品配置が可能な画面
		・複数データソースを使用することが可能

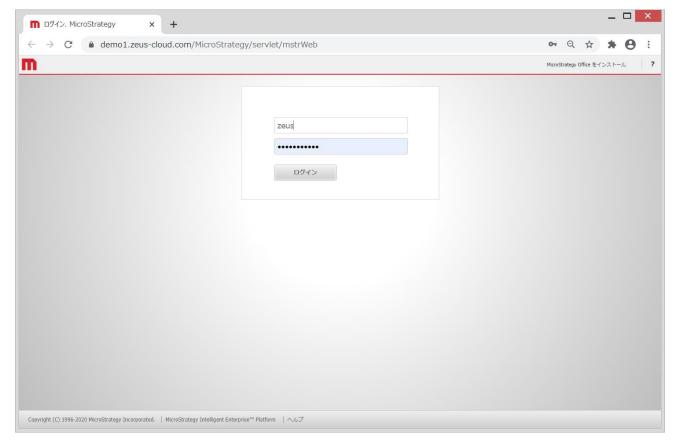
# 3 分析サービスへの接続

#### 3.1 分析サービスへの接続

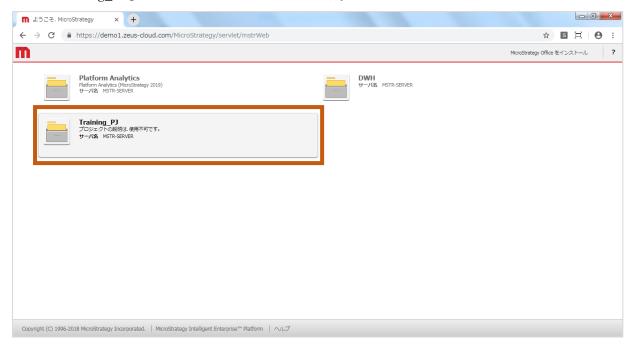
下記画面への接続方法は、

別紙「スタートアップマニュアルー5.1 分析機能への接続」をご参照ください。

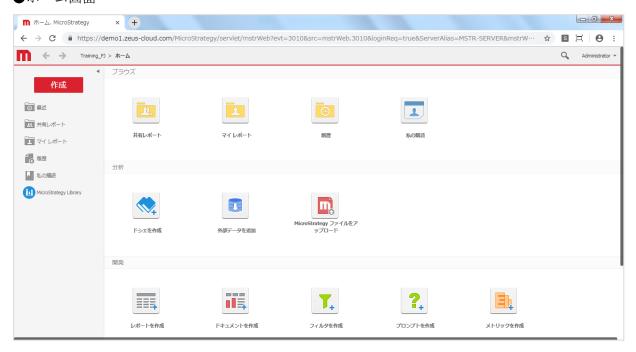
1. ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。 入力後、「ログイン」をクリックします。



# 2. 「Training\_PJ」プロジェクトをクリックします。



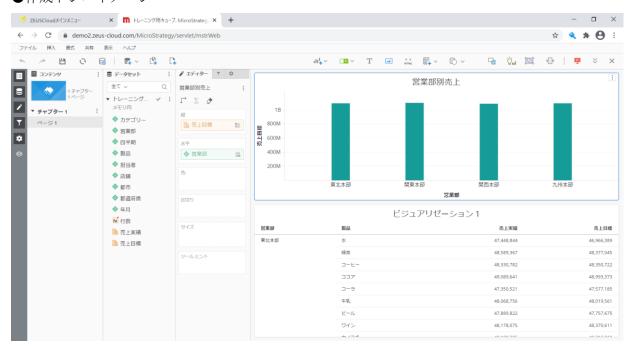
### ●ホーム画面



#### 4 ドシエ作成 -基礎-

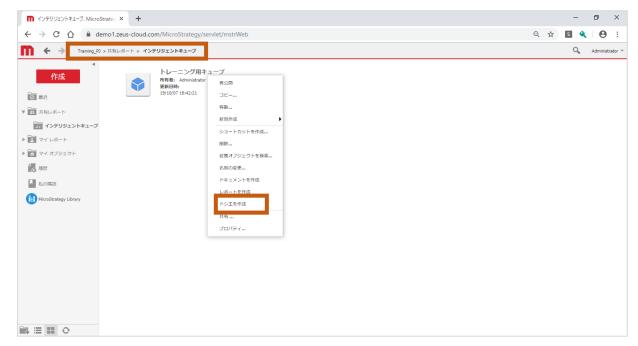
この章では、ドシエの基本的な作成方法を説明します。

●作成ドシエイメージ

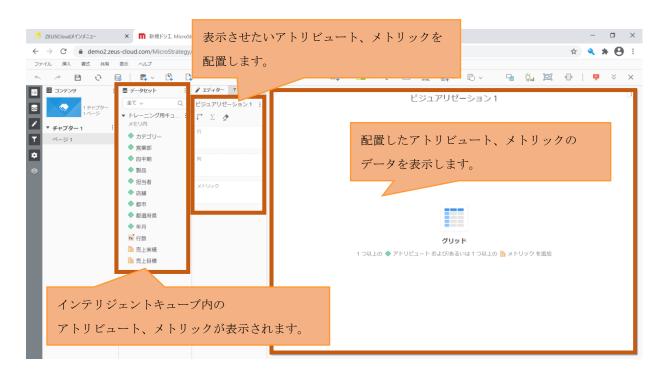


#### 4.1 ドシェの作成

1. 「共有レポート」>「インテリジェントキューブ」>「トレーニングキューブ」を右クリックし、「ドシエを作成」をクリックします。

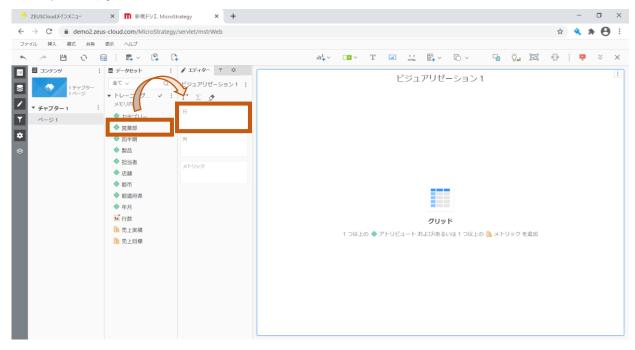


#### 2. 初期画面が表示されます。

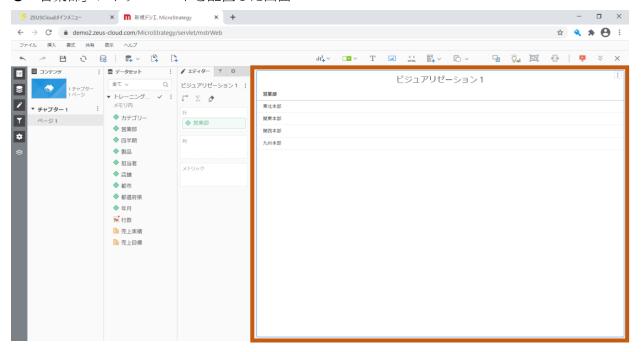


#### 4.2 アトリビュートの選択と配置

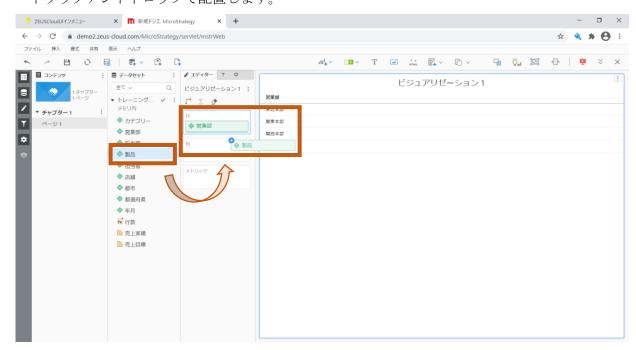
1. データセットより、「営業部」アトリビュートを「行」にドラッグアンドドロップし、 配置します。



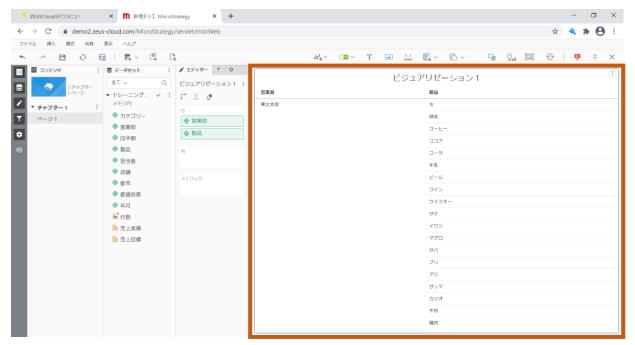
●「営業部」アトリビュートを配置した画面



2. 続けて、「製品」アトリビュートを配置します。 「行」にあらかじめ配置してある「営業部」アトリビュートの下に、 ドラッグアンドドロップで配置します。



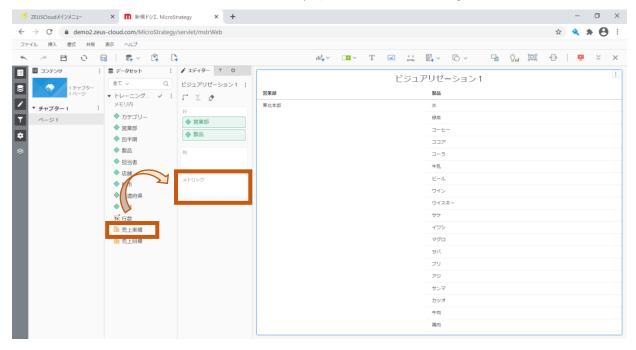
●「製品」アトリビュートを配置した画面



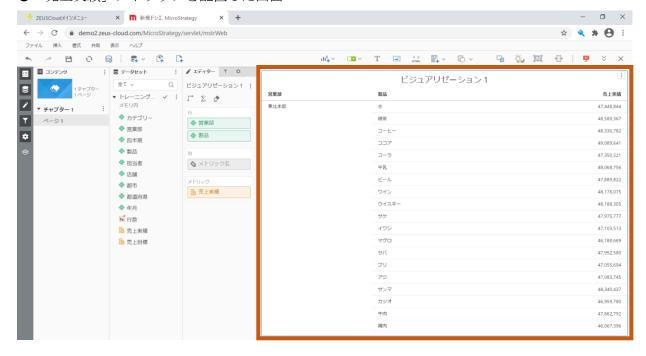
#### 4.3 メトリックの選択と配置

1. データセットより、「売上実績」メトリックを「メトリック」にドラッグアンドドロップし、 配置します。

※アトリビュートより左にメトリックを配置することはできません。

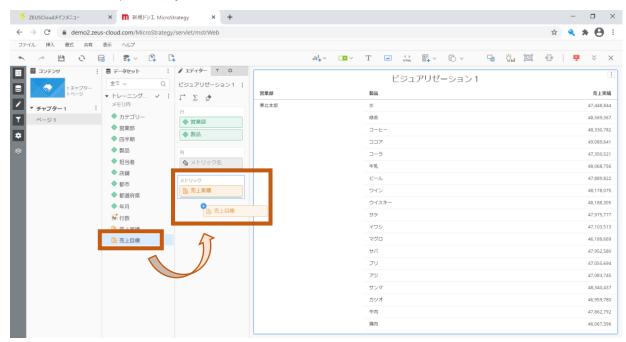


●「売上実績」メトリックを配置した画面

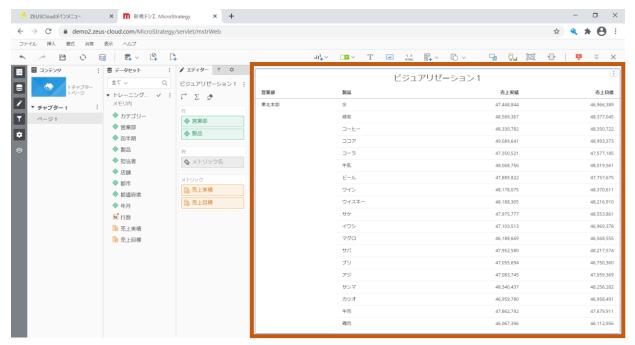


2. 続けて、「売上目標」メトリックを配置します。

「メトリック」にあらかじめ配置してある「売上実績」メトリックの下に、ドラッグアンドドロップで配置します。

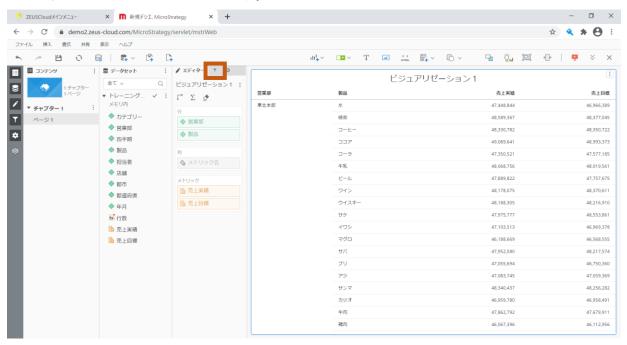


●「売上目標」メトリックを配置した画面

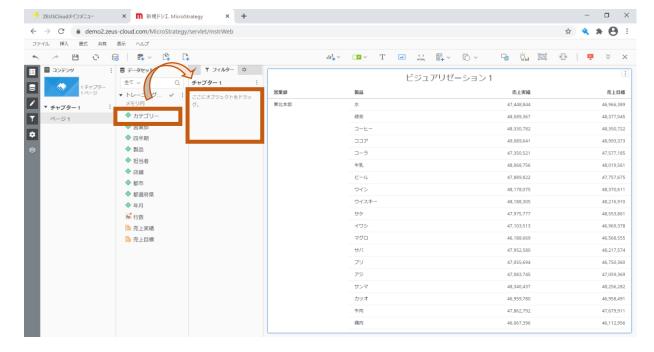


#### 4.4 フィルターの選択と配置

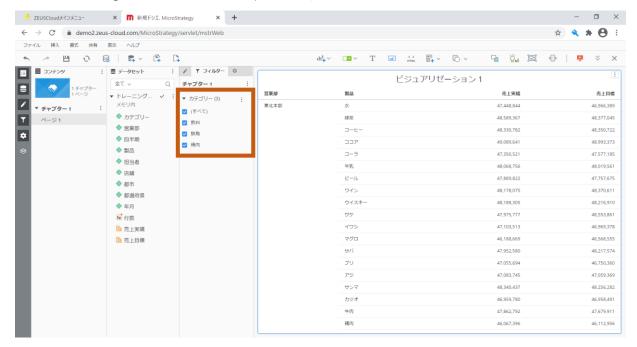
1. フィルターパネルをクリックします。



データセットより、「カテゴリー」アトリビュートを配置します。
 「ここにオブジェクトをドラッグ。」に「カテゴリー」アトリビュートをドラッグアンドドロップします。

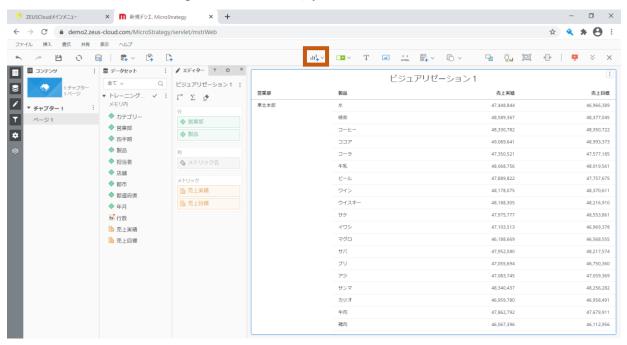


# ●「カテゴリー」アトリビュートを配置した画面

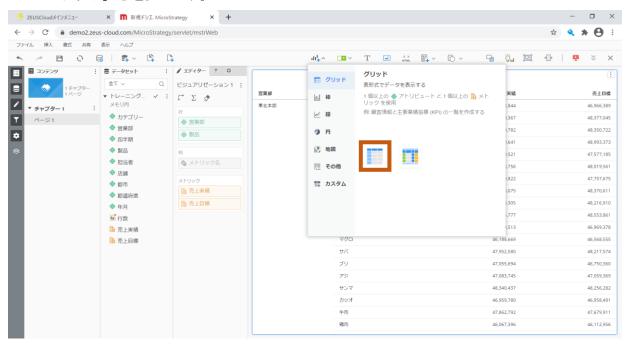


#### 4.5 ビジュアリゼーションの追加と移動

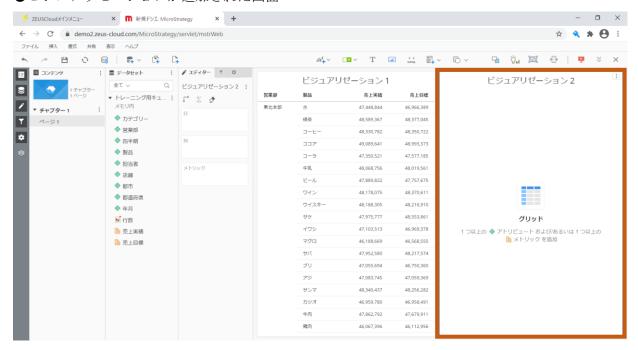
1. 「ビジュアリゼーション」をクリックします。



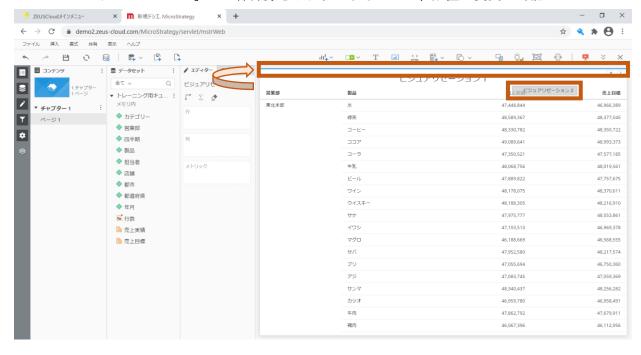
2. 「グリッド」を選択します。



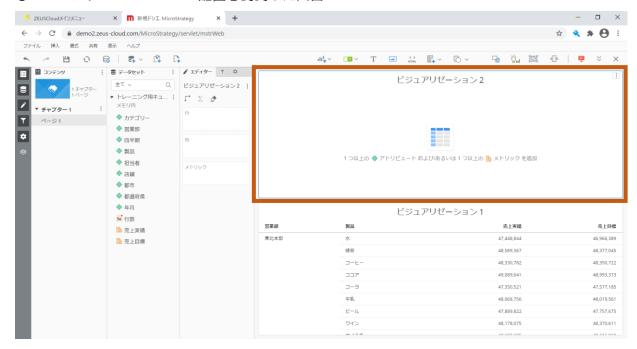
#### ●ビジュアリゼーションが追加された画面



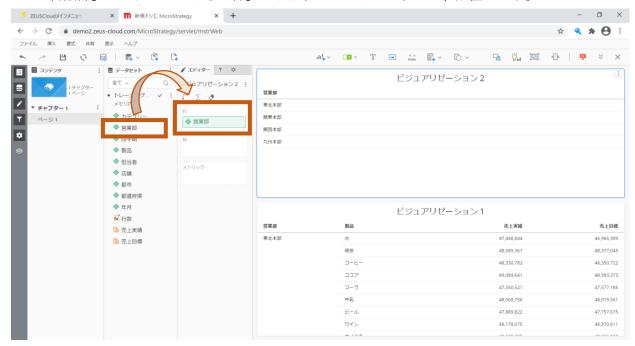
※「ビジュアリゼーション 2」の上枠部分をドラッグすることで、配置の変更が可能



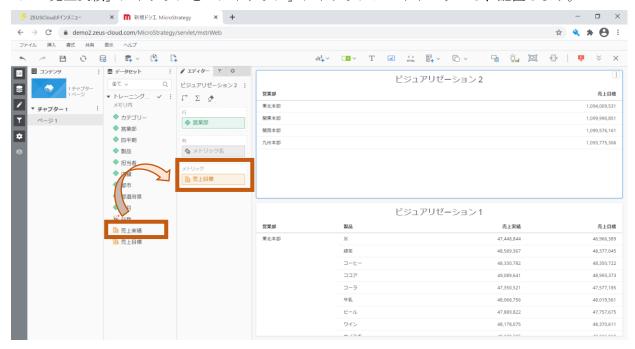
#### ●ビジュアリゼーション2の配置を変更した画面



3. 「営業部」アトリビュートを「行」にドラッグアンドドロップし、配置します。

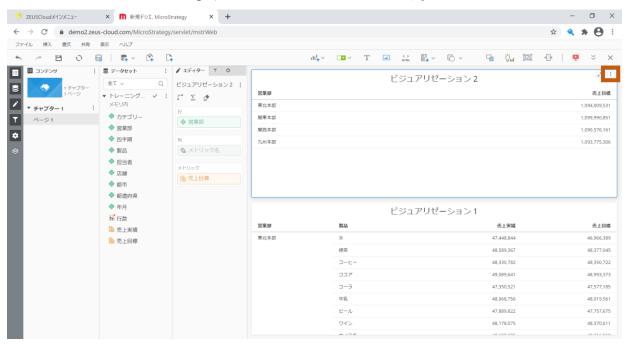


4. 「売上実績」メトリックを「メトリック」にドラッグアンドドロップし、配置します。

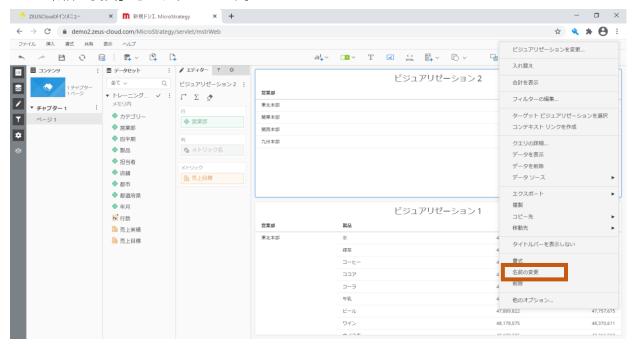


#### 4.6 ビジュアリゼーションの名前の変更

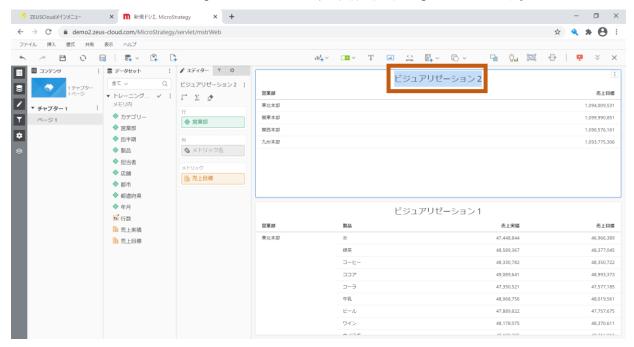
1. 「ビジュアリゼーション 2」右上のメニューをクリックします。



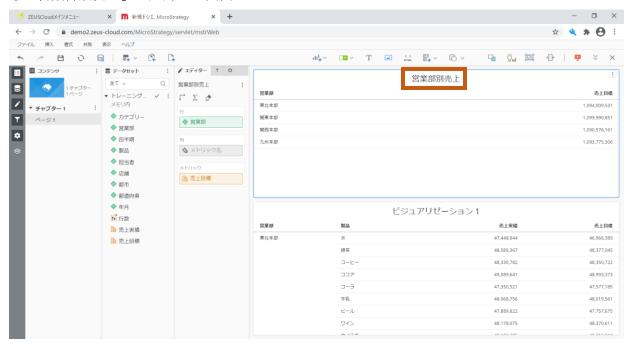
2. 「名前の変更」をクリックします。



3. 「ビジュアリゼーション 2」が選択されたら、「営業部別売上」と入力します。

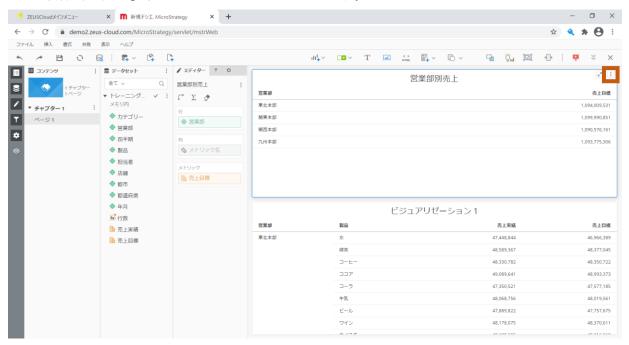


#### ●「営業部別売上」と入力した画面

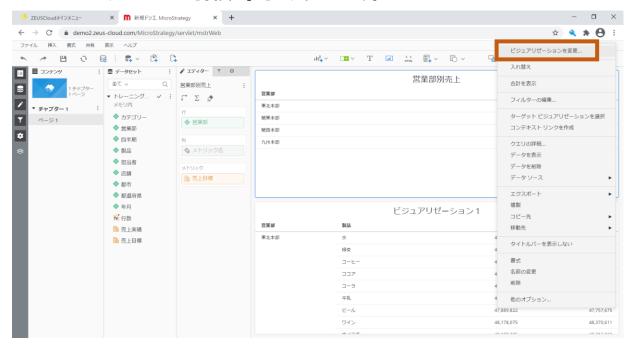


#### 4.7 ビジュアリゼーションの変更

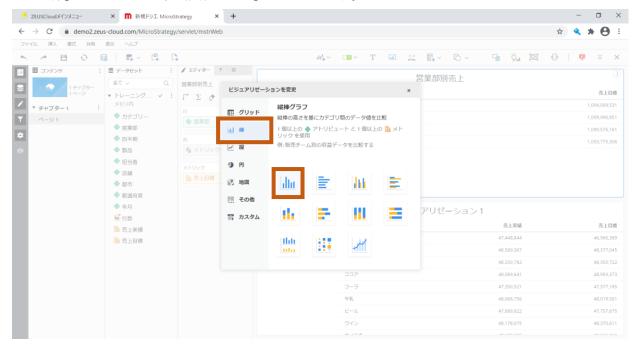
1. 「営業部別売上」右上のメニューをクリックします。



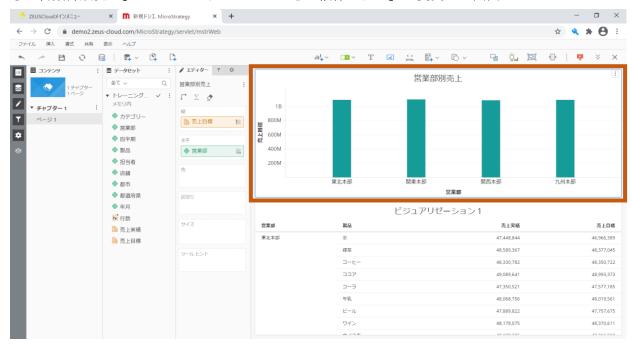
2. 「ビジュアリゼーションを変更...」をクリックします。



3. 「棒」をクリックし、「縦棒グラフ」を選択します。

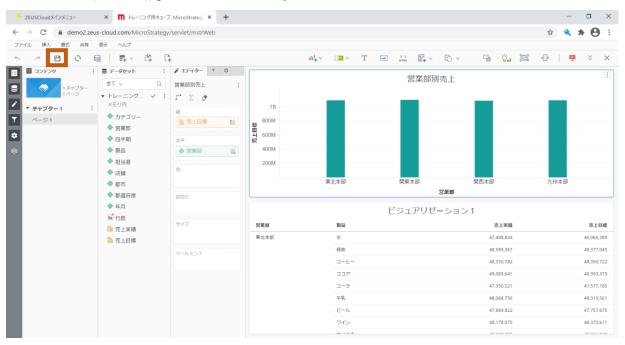


●「営業部別売上」のビジュアリゼーションを「縦棒グラフ」に変更した画面

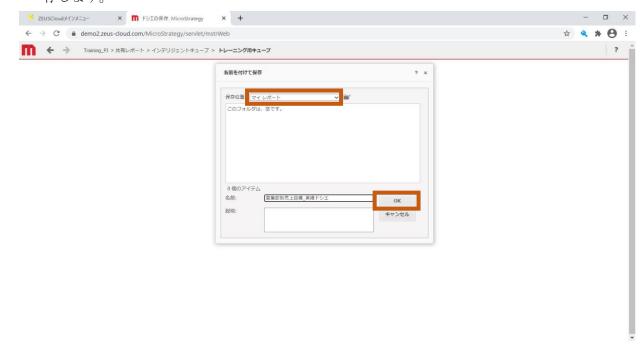


#### 4.8 ドシエ保存

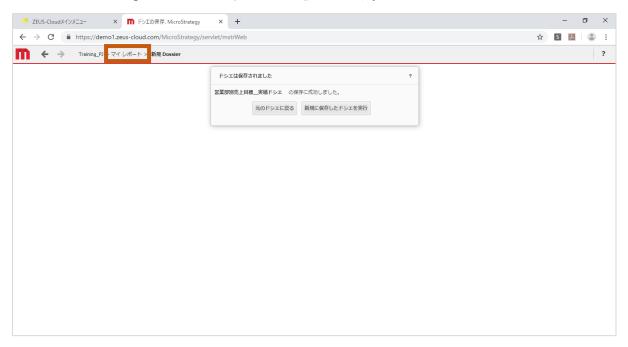
1. ヘッダー部の「保存」をクリックします。



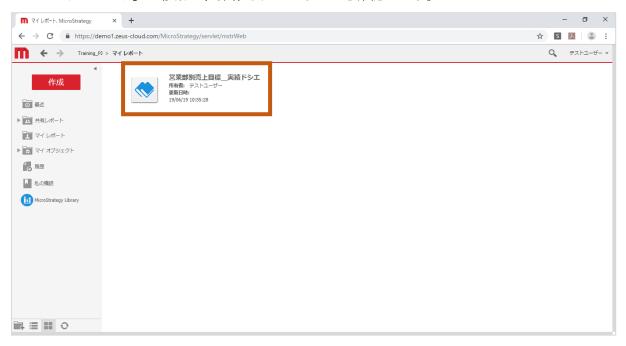
2. 保存位置はドロップダウンリストから「マイレポート」を選択します。 名前は「営業部別売上目標\_実績ドシエ」と入力し、「OK」をクリックして、レポートを保 存します。



3. 「マイレポート」をクリックし、ホームに移動します。



4. 「マイレポート」へ移動し、保存されていることを確認します。



# 4.9 ビジュアリゼーションの概要

メニュー	名称	説明
グリッド	グリッド	データを表形式で表します。
		例:アトリビュート⇒年月・カテゴリ、メトリック⇒売上・目標を
		用意し、年月でカテゴリごとの売上と目標を比較する。
	複合グリッド	共通のディメンションに見られるデータのさまざまな側面を分析す
		る複雑なグリッドを作成できます。複数の無関係なアトリビュート
		とメトリックを異なる列セットに格納し、後で1つのグリッドにま
		とめることができます。
		例:アトリビュート⇒店舗、列セット1のアトリビュート⇒注文タ
		イプ、列セット1のメトリック⇒売上、列セット2のアトリビ
		ュート⇒曜日、列セット2のメトリック⇒人件費を用意し、店
		舗別の利益を表示する。
棒グラフ	縦棒グラフ	項目に対する値を棒の長さによって比較します。
	   横棒グラフ	例:アトリビュート⇒年月、メトリック⇒売上を用意し、ある期間
	1英作ノ ノ ノ	における売上比較を可視化する。
	クラスター化された	複数の項目に対する値を棒の長さによって比較します。
	縦棒グラフ	例:アトリビュート⇒年月・カテゴリ、メトリック⇒売上を用意
	クラスター化された	し、ある期間におけるカテゴリごとの売上比較を可視化する。
	横棒グラフ	
	積み上げ縦棒グラフ	棒を使用してカテゴリ別にデータを比較します。
		例:アトリビュート⇒店舗・カテゴリ、メトリック⇒売上を用意
	積み上げ横棒グラフ	し、店舗別の売上比較と、店舗ごとに売上の内訳を
		可視化する。
	縦帯グラフ	統計データの分析結果をパーセントで表示します。
	 横帯グラフ	例:アトリビュート⇒店舗・カテゴリ、メトリック⇒売上を用意
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	し、店舗別にカテゴリの割合を可視化する。
	軸同期棒グラフ	同じ尺度と規模でデータ系を表示します。
		例:アトリビュート⇒地域、メトリック⇒売上・仕入価格を用意
		し、地域別の収益とコストを比較する。
	マトリックス棒グラ	2つの軸変数の値を正方形のグリッドとして異なるサイズまたは色
	フ	で表示します。
		例:アトリビュート⇒週・曜日、メトリック⇒営業時間を用意し、
		週の曜日別の営業時間を表示する。

_			
	棒グラフ	コンボグラフ	折れ線グラフと棒グラフを組み合わせて、一つのビジュアリゼーシ
	線グラフ		ョンに表示します。
			例:アトリビュート⇒年月、メトリック⇒実績・前年実績・前年比
			を用意し、年月ごとの実績、前年実績を棒グラフで比較し、折
			れ線グラフで前年比の推移を追う。
•	線グラフ	線グラフ	線を使ってある期間にわたる値を表します。
			例:アトリビュート⇒過去 10 年の期間、メトリック⇒売上を用意
			し、過去 10 年間の売上額の推移を追う。
		2軸線グラフ	2つの軸を使用して2つの変数間の関係を表示します。
			例:一定期間にわたる売上と従業員数の関係を表示する。
		積み上げ領域グラフ	線グラフ内の積み上げ領域を使用して、一定期間にわたる値の割合
			を比較します。
			例:アトリビュート⇒年月・事業、メトリック⇒利益を用意し、
			様々な事業から出た利益額を、ある期間で比較をする。
		絶対領域グラフ	線グラフ内の絶対領域を使用して、一定期間にわたる値を比較しま
			す。
			例:アトリビュート⇒年月・店舗、メトリック⇒売上を用意し、店
			舗別に売上の突出しているデータを可視化する。
	円グラフ	円グラフ	全体合計に対する項目ごとの割合を大きさで表示します。
			例:アトリビュート⇒地域、メトリック⇒顧客数を用意し、地域ご
			との顧客数の割合を可視化する。
		ドーナツグラフ	合計値の構成をドーナツグラフでカテゴリ別に表示します。
			例:会社の部門支出を、中央に表示された総支出 KPI と比較する。
	地図	地理情報サービス	Mapbox を使って、データを地図上に可視化します。
			例:アトリビュート⇒地域、メトリック⇒平均年収・平均家賃を用
			意し、地図上で地域ごとの平均年収の状態と、地域ごとの平均
			家賃の状態を表示できる。レイヤーを分けることで異なるデー
			タを比較できる。
		地図	ESRI マップを使って、データを地図上に可視化します。

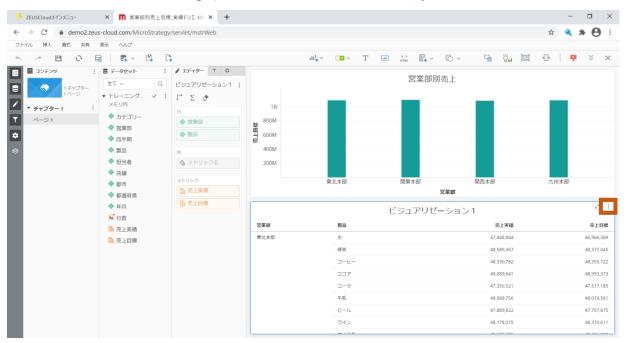
その他	KPI	業績等を量的に表すための指標。前日比や、目標に対する進捗を表
		すことができます。
		例:アトリビュート⇒年月、メトリック⇒訪問数を用意し、ウェブ
		サイトの毎日の異なる訪問数(前月比)を表示する。
	ウォーターフォール	棒と色を使って、カテゴリによる値の増減を表示します。
		例:アトリビュート⇒カテゴリ、メトリック⇒収入・支出を用意
		し、支出及び収入の各カテゴリが、月間予算にどう影響するかを検
		証する。
	ヒートマップ	さまざまな大きさや色の長方形を使って、階層データを表示しま
		す。
		例:アトリビュート⇒都道府県、メトリック⇒平均家賃を用意
		し、地域別の平均家賃の高さによるグループ分けを色と
		長方形の大きさで表す。
	バブルグラフ	位置、色、大きさを使って値の比較や相関を表します。
		例:アトリビュート⇒地域、メトリック⇒平均年収、平均家賃、家
		賃比率を用意し、地域ごとの年収と家賃の相関を可視化する。
	ヒストグラム	一連の連続データの基礎となる頻度分布を調べることができます。
		例:アトリビュート⇒社員数、メトリック⇒給与額を用意し、給与
		額が所定の範囲内に入る社員の数を求める。
	ボックスプロット	項目ごとの値のばらつきをわかりやすく表現するための統計図で
		す。
		例:アトリビュート⇒販売員・商品、メトリック⇒売上を用意し、
		商品の売上が販売員によってどう変わるのか可視化する。
	ネットワーク	データ同士の関係を視覚的に表示します。
		例:アトリビュート⇒カテゴリー・メーカー、メトリック⇒売上を
		用意し、カテゴリの各項目とメーカーの各項目の関係を可視化
		し、大きさで売上の比較をする。

#### 5 ドシエ作成 -応用-

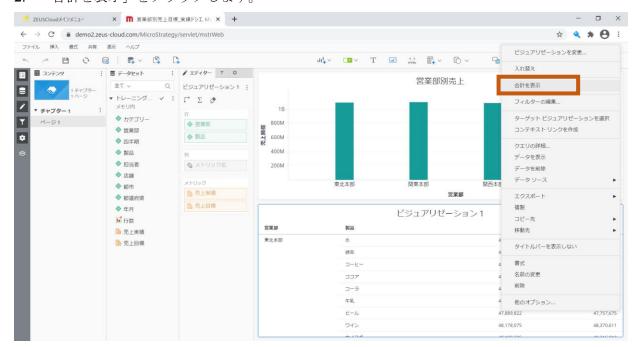
この章では、ドシエで詳細な分析が行えるように、応用的な使い方を説明します。

#### 5.1 合計表示

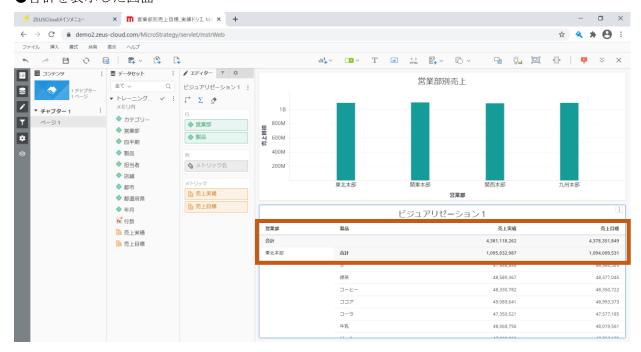
1. 「ビジュアリゼーション1」右上のメニューをクリックします。



2. 「合計を表示」をクリックします。

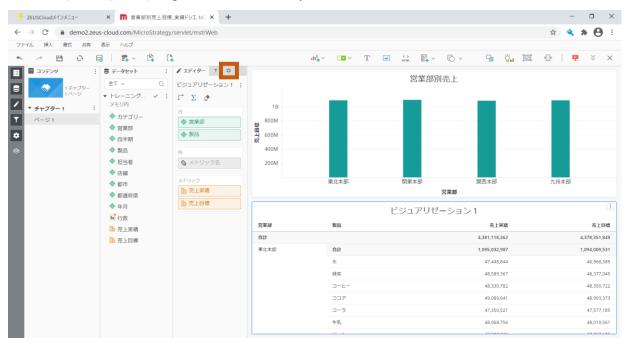


#### ●合計を表示した画面

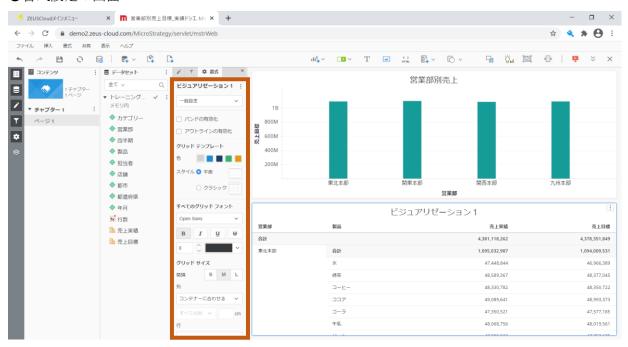


#### 5.2 書式設定

1. エディター部の「書式」をクリックします。



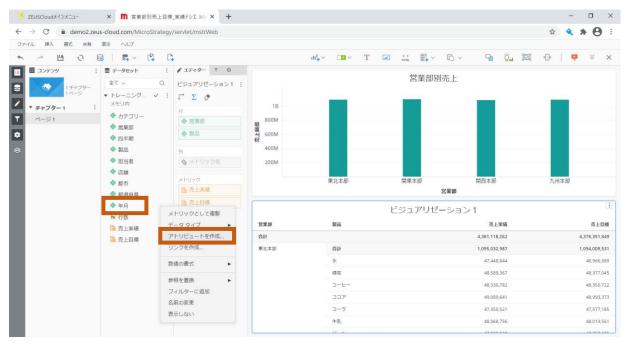
#### ●書式設定の画面



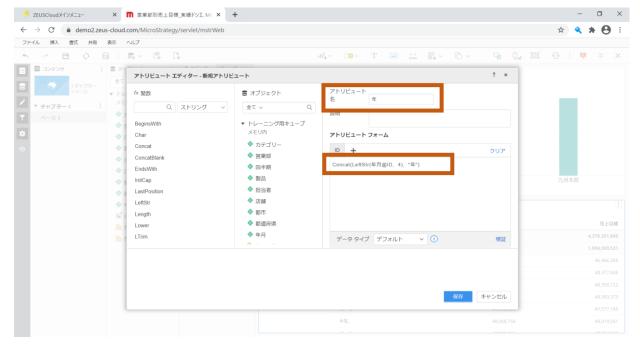
#### 5.3 派生アトリビュートの作成

年月を表示するアトリビュートはありますが、年を表示するアトリビュートがないので、アトリビュートを編集して、新しくアトリビュートを作成します。 この操作によって作成されたアトリビュートを、「派生アトリビュート」と呼びます。

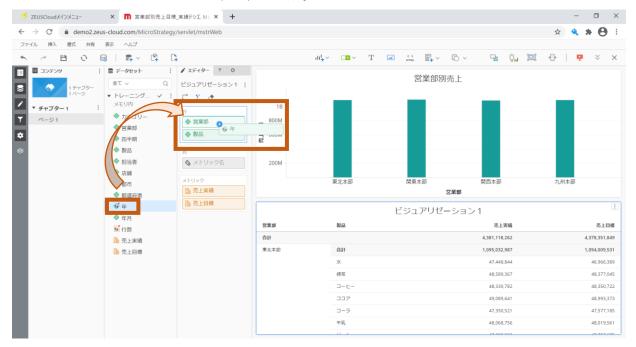
1. 「年月」アトリビュート上で右クリックをし、「アトリビュートを作成」をクリックします。



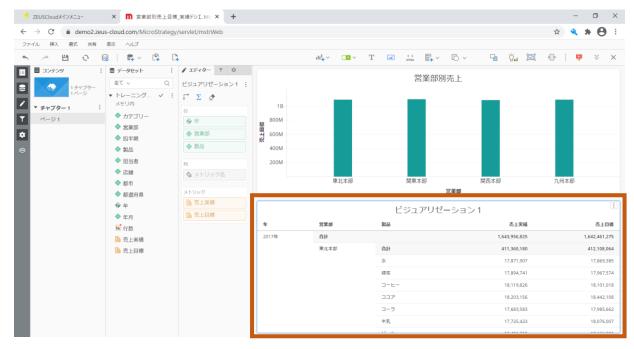
2. アトリビュート名に「年」、アトリビュートフォームに「Concat(LeftStr(年月@ID, 4), "年")」 と入力し、「保存」をクリックします。



3. 作成した「年」アトリビュートを「ビジュアリゼーション 1」の「営業部」の上に ドラッグアンドドロップして、配置します。



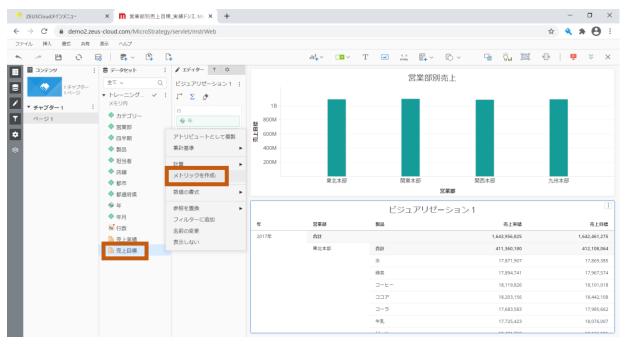
●「年」アトリビュートを配置した画面



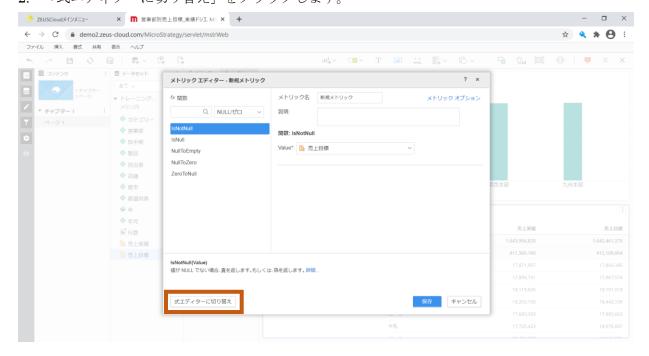
#### 5.4 派生メトリックの作成

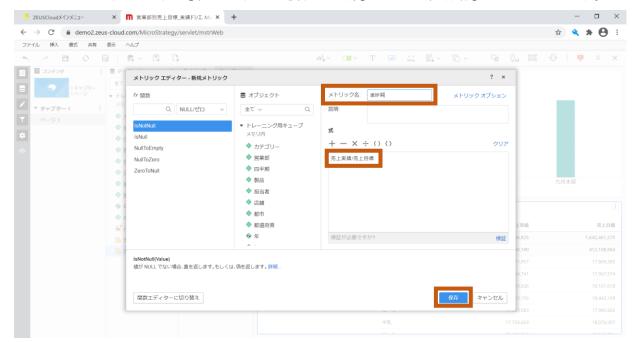
売上実績と売上目標のメトリックがあるので、進捗率を表すメトリックを作成します。 派生アトリビュートと同様に、メトリックを編集し、新しくメトリックを作成します。 この操作によって作成されたメトリックを、「派生メトリック」と呼びます。 ※先ほど配置した「年」アトリビュートは外してあります。

1. 「売上目標」メトリックの上で右クリックをし、「メトリックを作成」をクリックします。



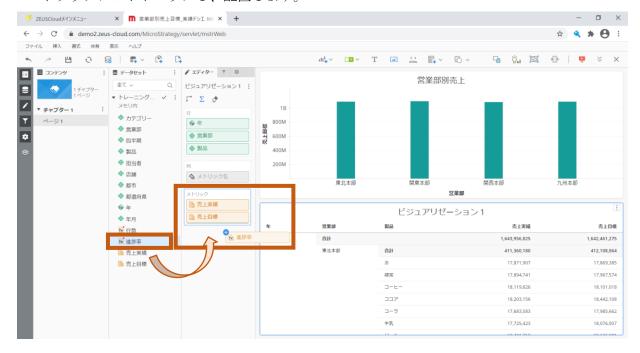
2. 「式エディターに切り替え」をクリックします。



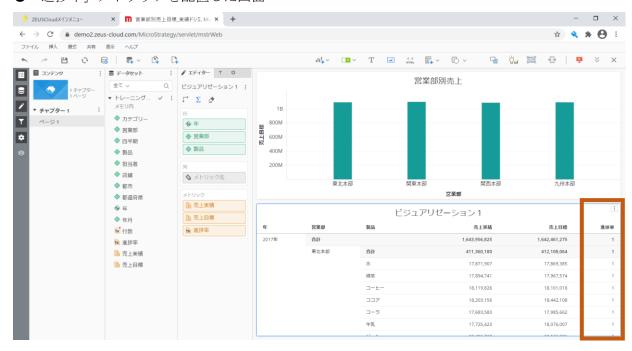


3. メトリック名に「進捗率」、式に「売上実績/売上目標」と入力し、「保存」をクリックします。

4. 「進捗率」メトリックを、「ビジュアリゼーション 1」のメトリックに ドラッグアンドドロップし、配置します。

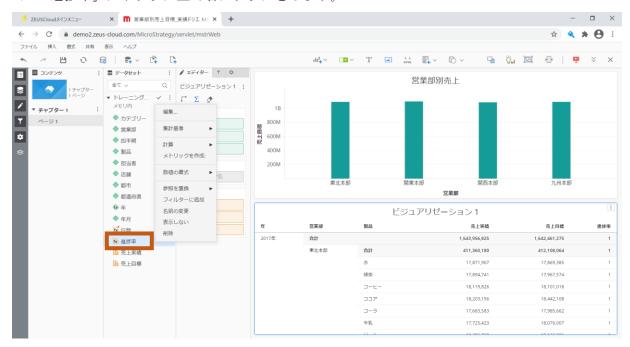


# ●「進捗率」メトリックを配置した画面

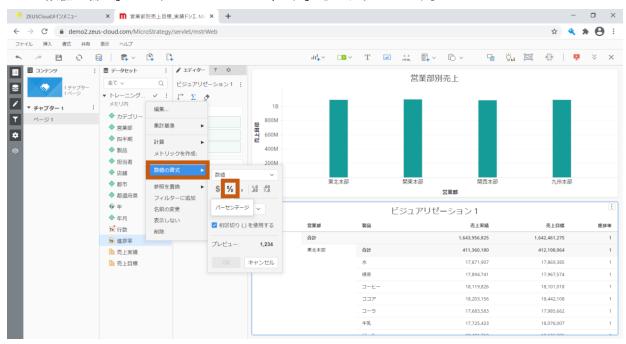


#### 5.5 数値の書式

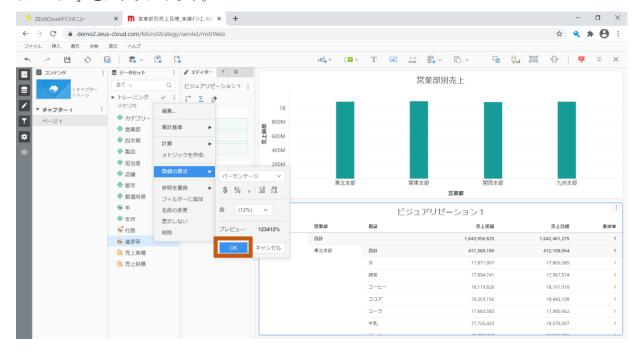
1. 「進捗率」メトリック上で右クリックをします。



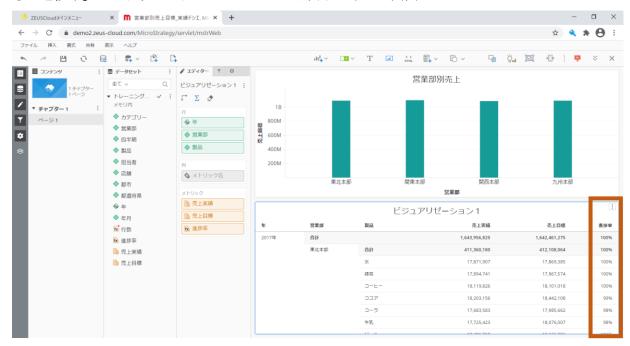
2. 「数値の書式」にマウスオーバーして、「%」をクリックします。



### 3. 「OK」をクリックします。

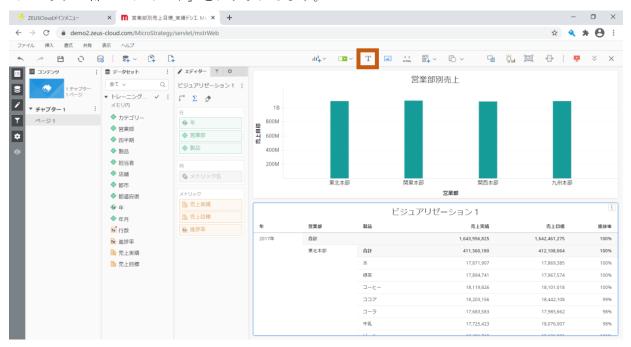


# ●「進捗率」メトリックのデータがパーセント表示になった画面

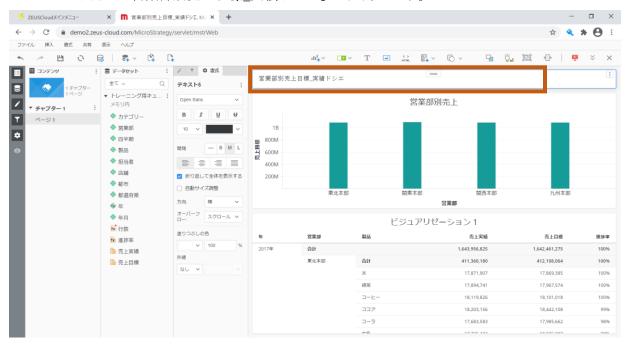


#### 5.6 テキスト配置

1. ヘッダー部の「テキスト」をクリックします。

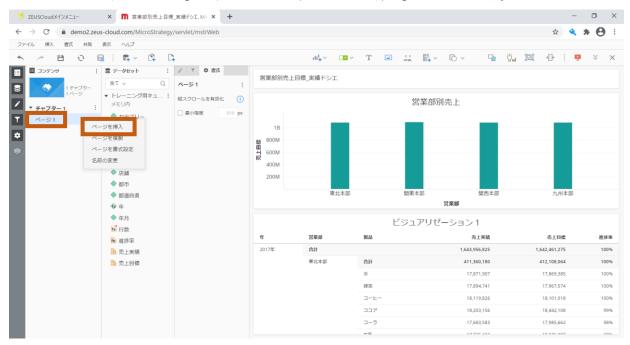


2. テキスト内に「営業部別売上目標\_実績ドシエ」と入力します。

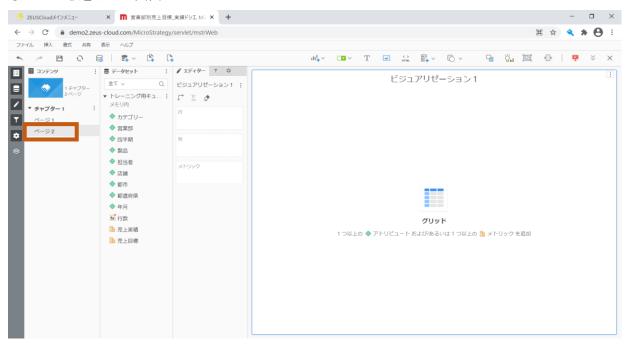


### 5.7 ページ追加

1. コンテンツ部「ページ1」を右クリックし、「ページを挿入」を選択します。

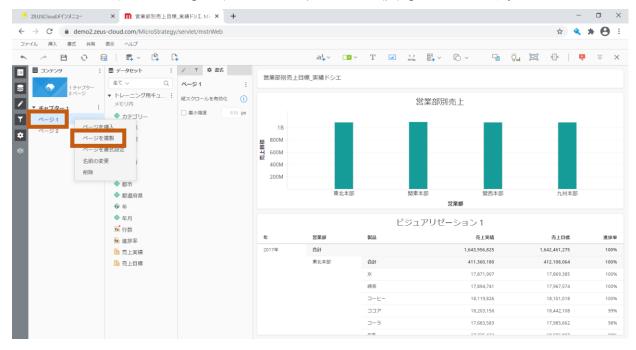


# ●ページを追加した画面

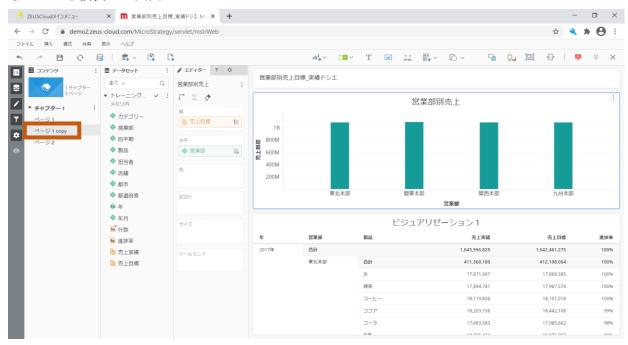


### 5.8 ページ複製

1. コンテンツ部「ページ1」を右クリックし、「ページを複製」を選択します。

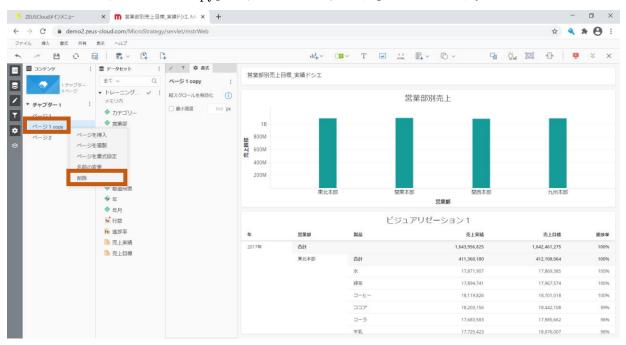


## ●ページを複製した画面

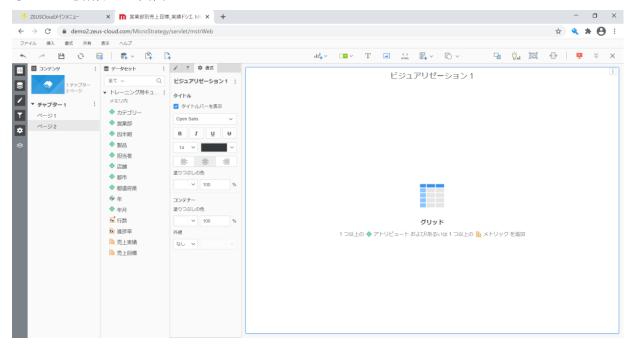


# 5.9 ページ削除

1. コンテンツ部「ページ 1 copy」を右クリックし、「削除」を選択します。



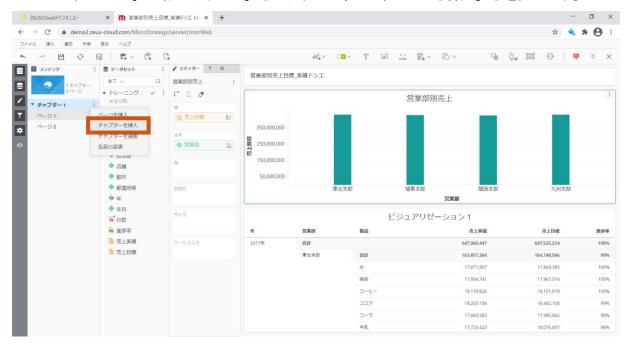
# ●ページを削除した画面



### 5.10 チャプター追加

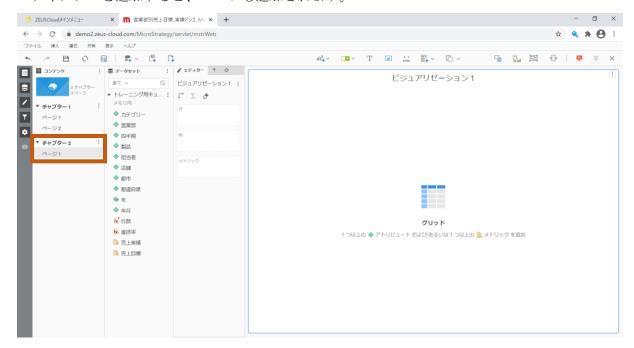
画面構成には、「チャプター」と「ページ」があります。チャプターには、ページが1ページ以上含まれます。コンテンツパネルを使用して、ドシエ内のチャプターとページの構造を表示し、それらの間を移動します。チャプターの使い分け方は主に、閲覧する対象者を分ける方法や、分析するカテゴリー(売上データと勤怠データなど)を分ける方法があります。

1. 「チャプター1」の右にある「…」をクリックし、「チャプターを挿入」を選択します。



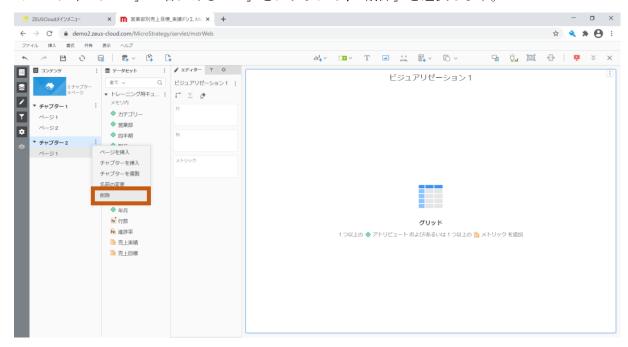
### ●チャプターを追加した画面

チャプターを追加すると、ページも追加されます。

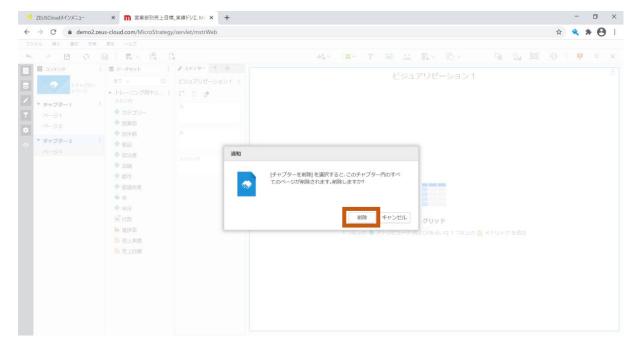


#### 5.11 チャプター削除

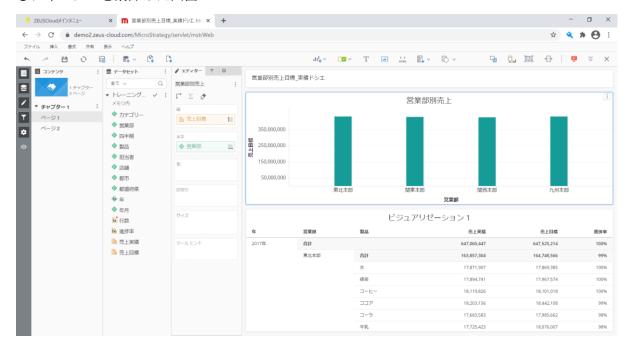
1. 「チャプター2」の右にある「…」をクリックし、「削除」を選択します。



2. チャプターを削除すると、その中にあるページが削除されるため、その確認メッセージが表示されます。「削除」をクリックします。



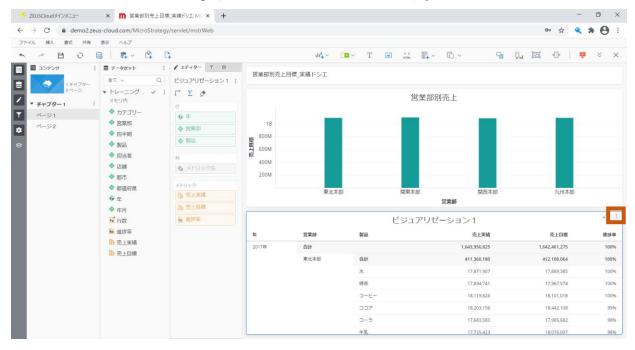
# ●チャプターを削除した画面



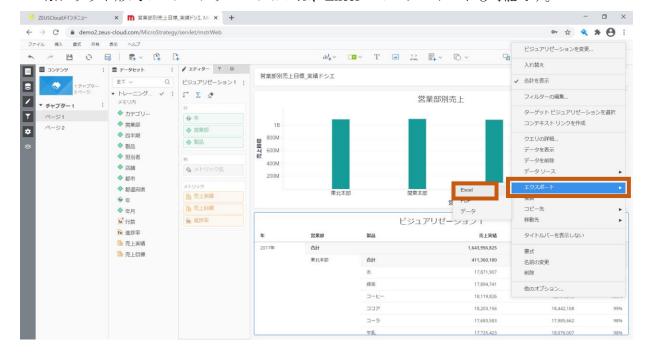
#### 5.12 エクスポート

ビジュアリゼーションをエクスポート

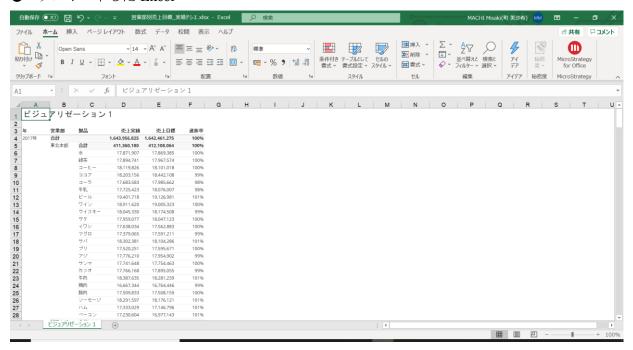
1. 「ビジュアリゼーション1」右上のメニューをクリックします。



2. 「エクスポート」をマウスオーバーし、「Excel」をクリックします。※グリッド形式のビジュアリゼーションは、Excel へのエクスポートも可能です。

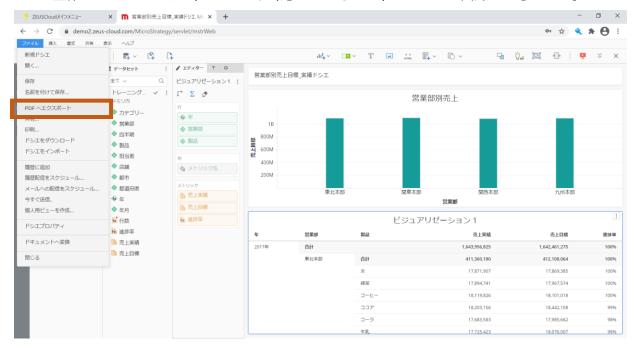


### ●エクスポートした Excel

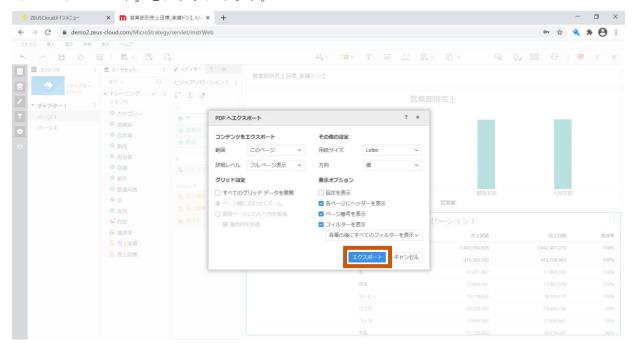


#### 画面全体をエクスポート

1. 画面ヘッダー「ファイル」をクリックし、「PDF ヘエクスポート」をクリックします。 ※全体のエクスポートは、PDF のみ対応しているため、Excel での出力はできません。



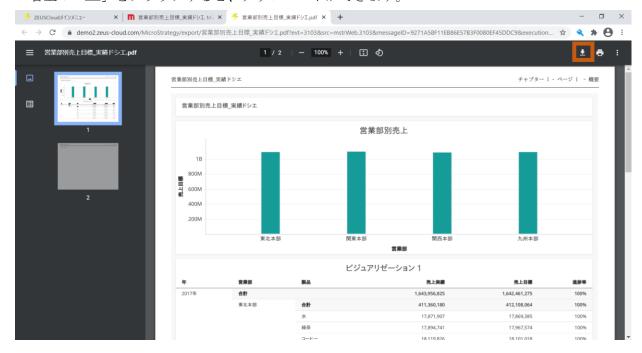
# 2. 「エクスポート」をクリックします。



### ●エクスポートした PDF

右上の「

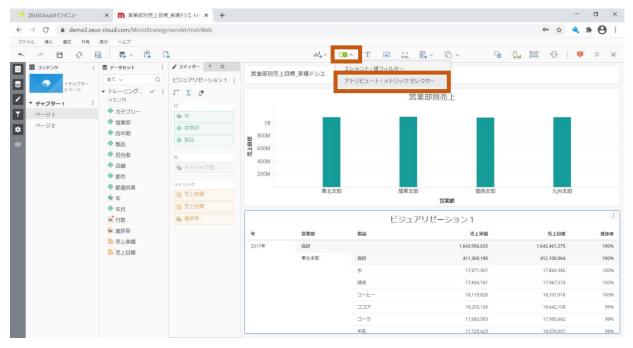
」をクリックすると、ダウンロードができます。



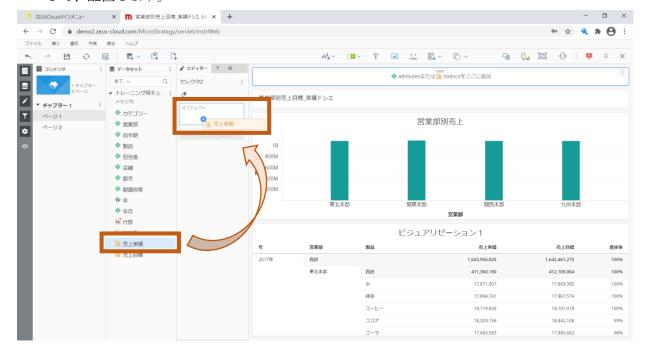
### 5.13 セレクター追加

セレクターは、アトリビュートまたはメトリックを切り替えて表示する際に使用します。

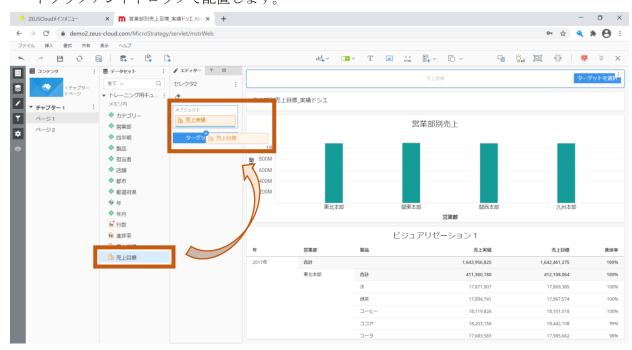
1. ヘッダー部の「フィルター」をクリックして、「アトリビュート/メトリック セレクター」を選択します。



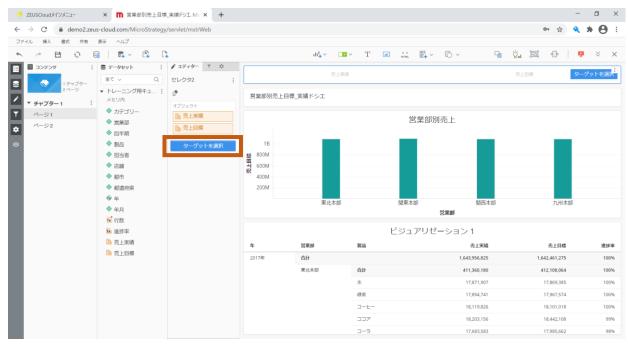
2. データセットより、「売上実績」メトリックを「オブジェクト」にドラッグアンドドロップ して、配置します。



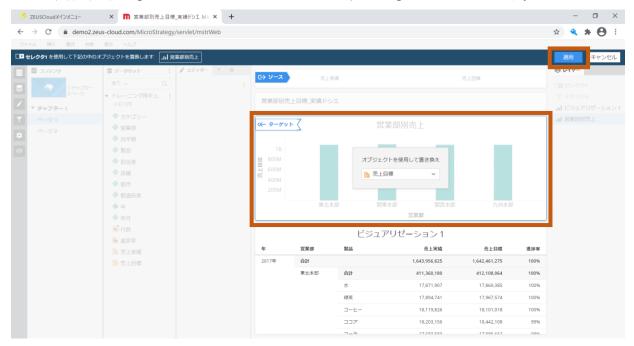
 続けて、「売上目標」メトリックを配置します。
 「メトリック」にあらかじめ配置してある「売上実績」メトリックの下に、 ドラッグアンドドロップで配置します。



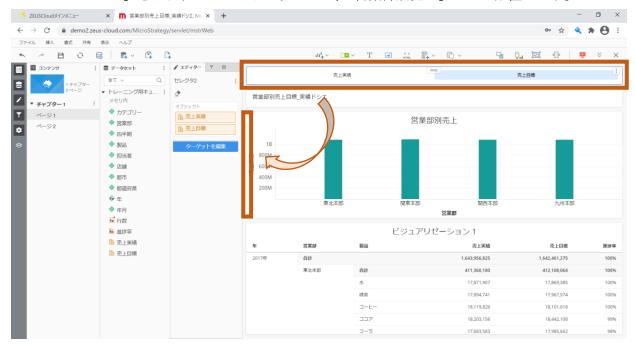
4. 「ターゲットを選択」をクリックします。





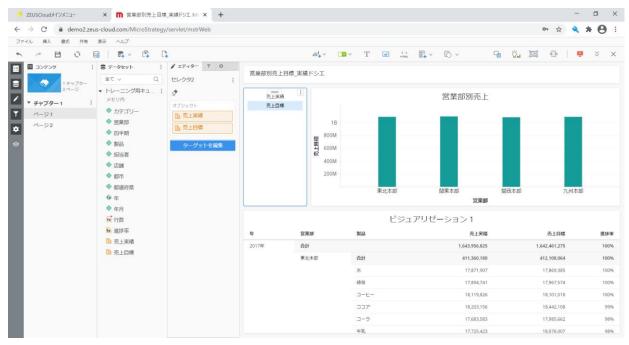


6. 「セレクター」をドラッグアンドドロップして、「営業部別売上」の左に配置します。



# ●セレクターを追加した画面

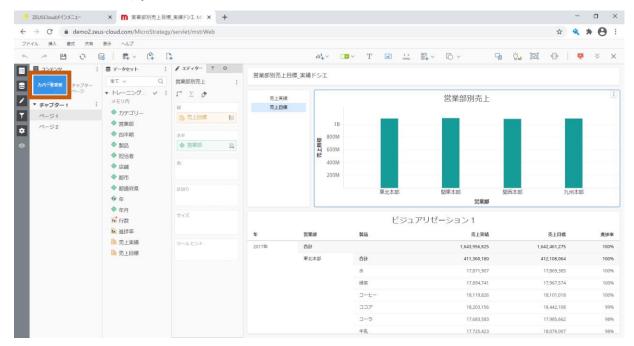
「営業部別売上」のメトリックを切り替えることができます。



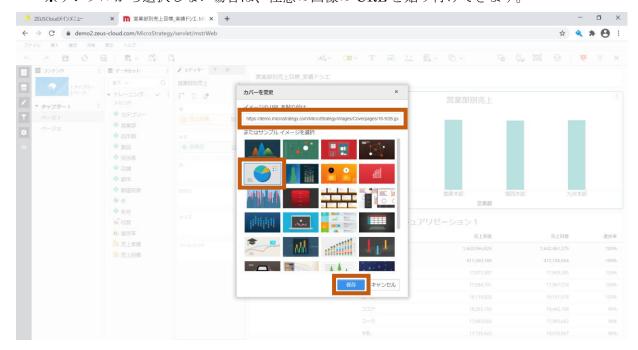
### 5.14 カバー変更

作成したレポートは、イメージ画像を設定することができます。 参照機能を使用して、ドシエを参照する際に、表示されます。

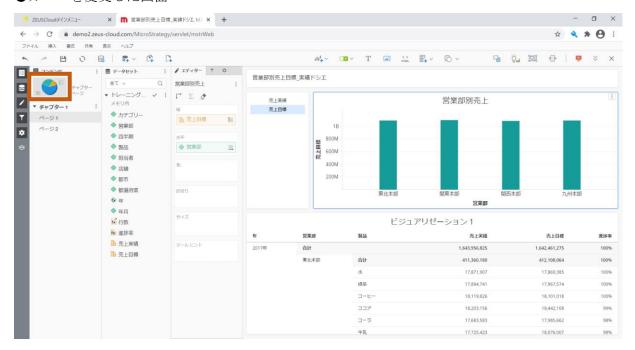
1. 画面左部にあるコンテンツにカーソルを合わせると、「カバー変更」と表示されるので、 クリックします。



2. カバーを変更する画面が表示されます。サンプルイメージから好きなイメージを選択すると、URLが表示されます。URLが表示されたことを確認して、「保存」をクリックします。 ※サンプルから選択しない場合は、任意の画像の URL を貼り付けできます。

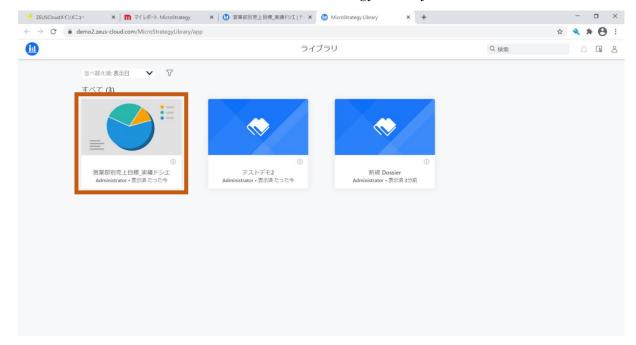


#### ●カバーを変更した画面



- ●参照機能から参照する場合は、以下のように表示されます。
  - ※参照機能の接続や、ドシエの登録方法は、

別紙「スタートアップマニュアルー8 MicroStrategy Library」をご参照ください。

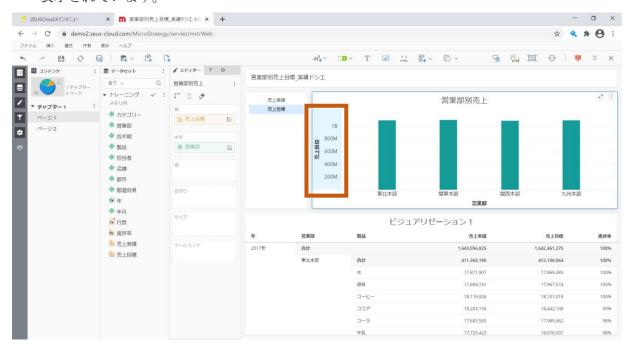


#### 5.15 ラベルの表示切替

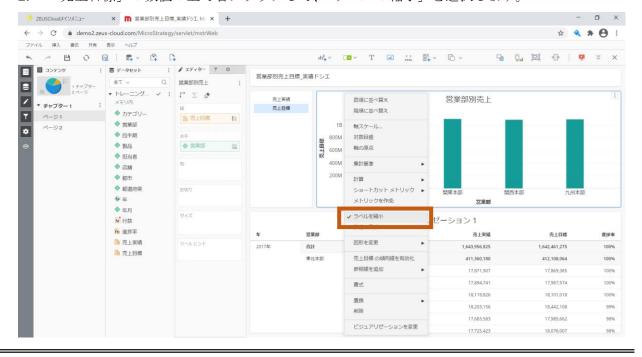
グラフでデータを表示する際、縦軸もしくは横軸に数値の表示がされます。

その際、数値の単位が大きい場合、表示幅を短縮するため、「ラベルの短縮」が自動で行われます。ラベルを短縮したくない場合は、「ラベルの短縮」を解除することですべての数値を表示できます。

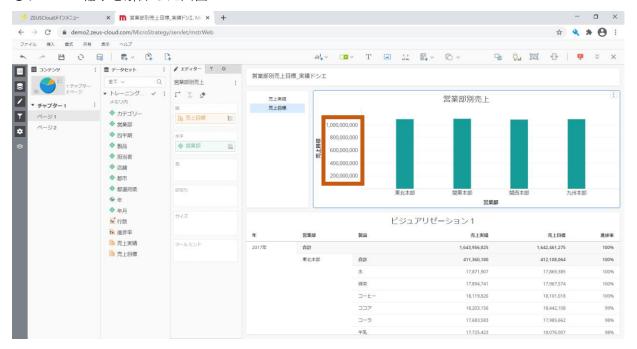
1. 「営業部別売上」の「売上目標」の数値を確認します。数値の単位が大きいので、「M」が表示されています。



2. 「売上目標」の数値の上で右クリックして、「ラベルの縮小」を選択します。



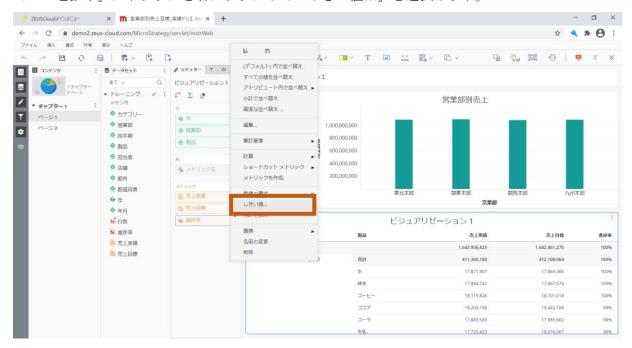
# ●ラベルの縮小を解除した画面



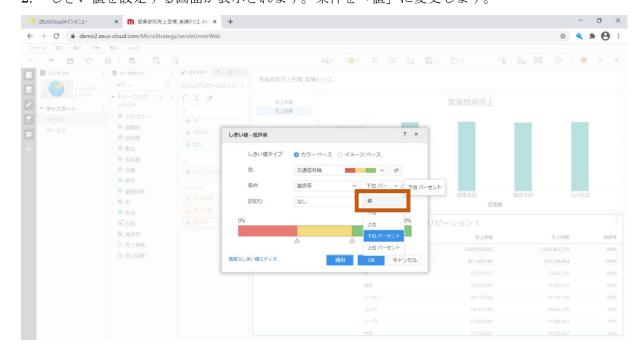
#### 5.16 しきい値の作成

データが特定の条件を満たす場合、ビジュアリゼーションに書式を適用することで、 値を強調して表示できます。この書式はしきい値と呼ばれます。

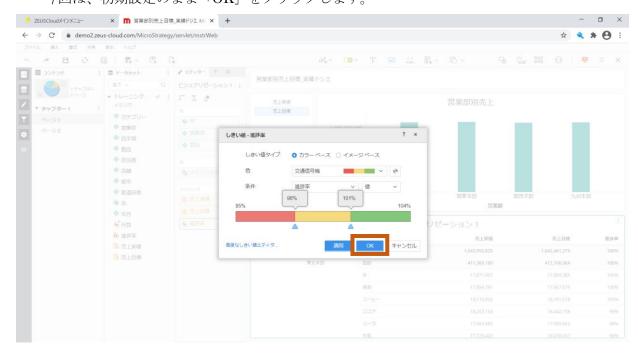
1. 「進捗率」メトリックを右クリックして「しきい値…」を選択します。



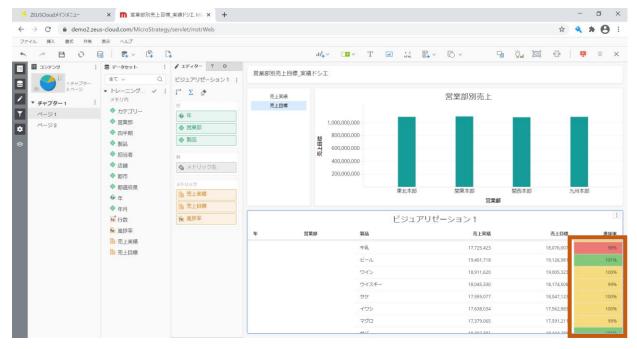
2. しきい値を設定する画面が表示されます。条件を「値」に変更します。



「▲」をクリックして、色を変える位置を設定できます。
 今回は、初期設定のまま「OK」をクリックします。



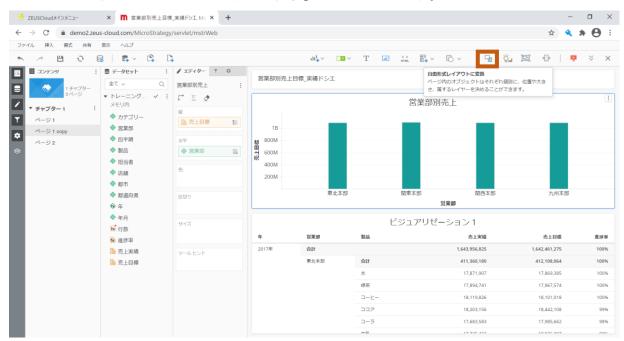
### ●しきい値を設定した画面



#### 5.17 自由形式レイアウト

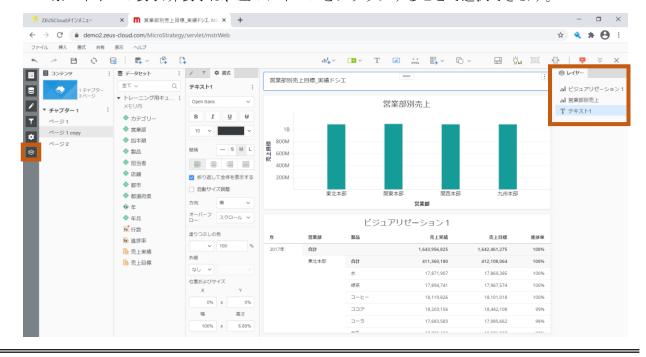
ビジュアリゼーションは、ページいっぱいに収まるように、自動で配置されます。 そのため、任意の場所に変更する際も、大きさは自動で調整されます。「自由形式レイアウト」 に変換すると、ビジュアリゼーションの大きさや配置場所を自由に変更できます。

1. ヘッダー部の「自由形式レイアウトに変換」をクリックします。

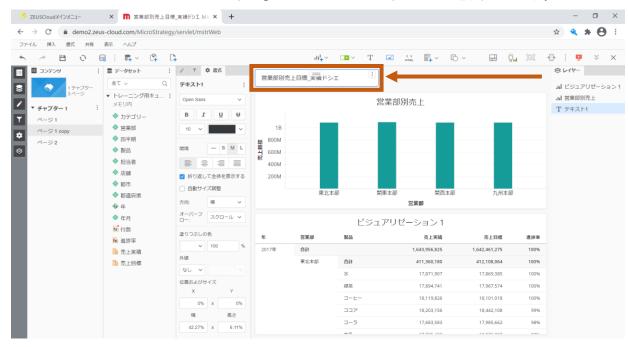


2. それぞれのビジュアリゼーションを、任意の大きさに変更できるようになります。 右側にレイヤーが表示されます。

※レイヤーの表示/非表示は、左のアイコンをクリックすることで選択できます。



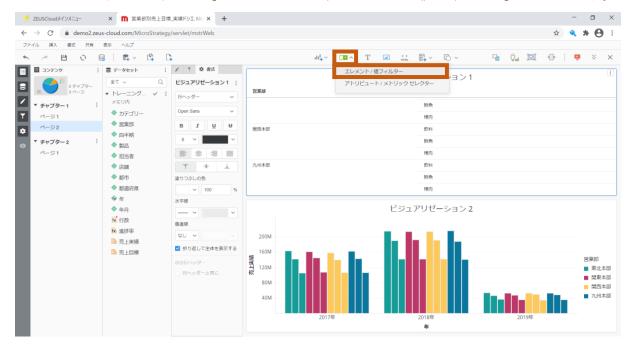
3. テキストにカーソルをあてると、「↔」が表示されるので、大きさを調節できます。



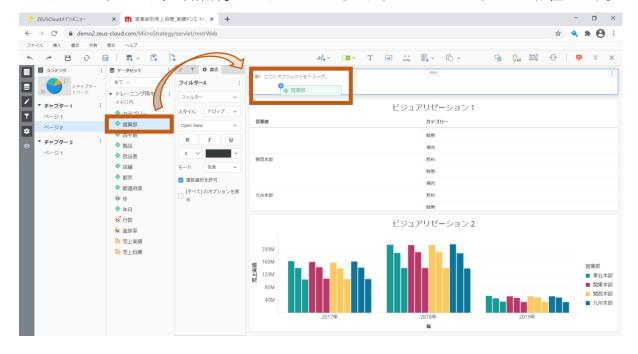
### 5.18 ビジュアライゼーションのフィルタ

フィルタメニューの中ではなく、画面上に見える形でフィルタを追加することができます。

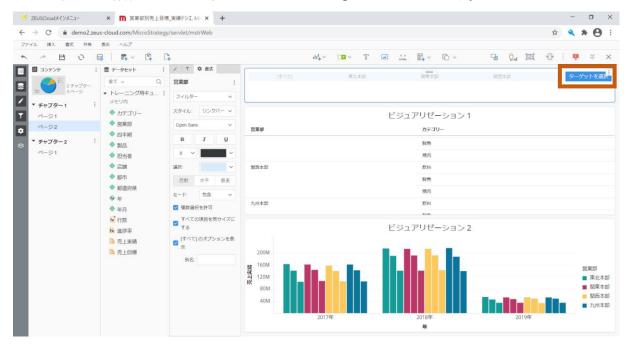
1. ヘッダー部の「フィルター」をクリックして、「エレメント/値フィルター」を選択します。



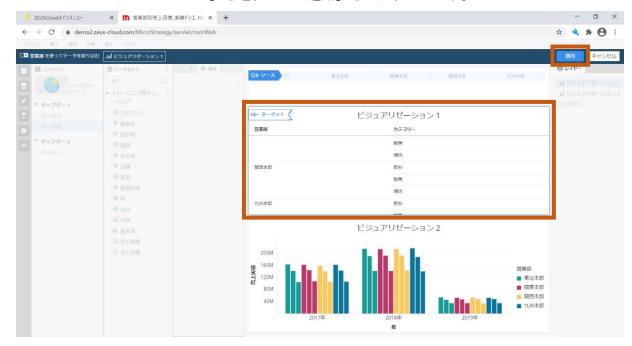
2. データセットより、「営業部」アトリビュートをドラッグアンドドロップして配置します。



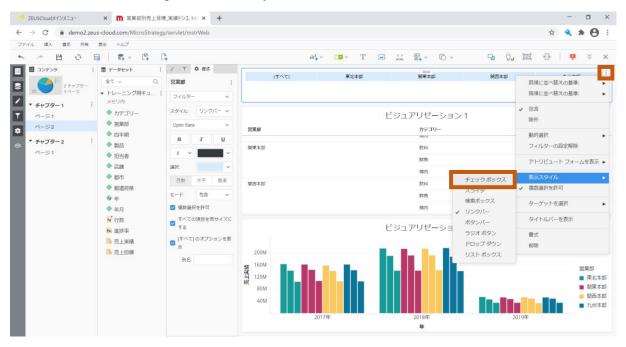
3. フィルタが作成されるので、「ターゲットを選択」をクリックします。



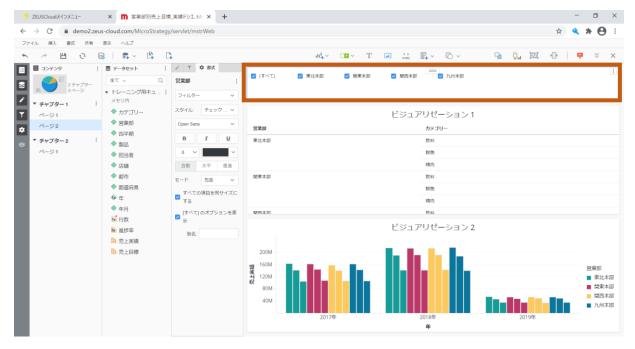
4. 「ビジュアリゼーション 1」を選択して「適用」をクリックします。



5. 右上の「…」をクリックしてメニューを表示して「表示スタイル」にマウスオーバーし、「チェックボックス」を選択します。

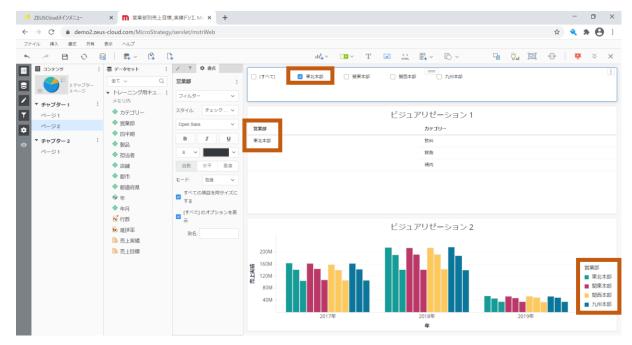


6. チェックボックスに変更されます。チェックボックスの選択肢を「東北本部」のみにします。



### ●「東北本部」でフィルタした画面

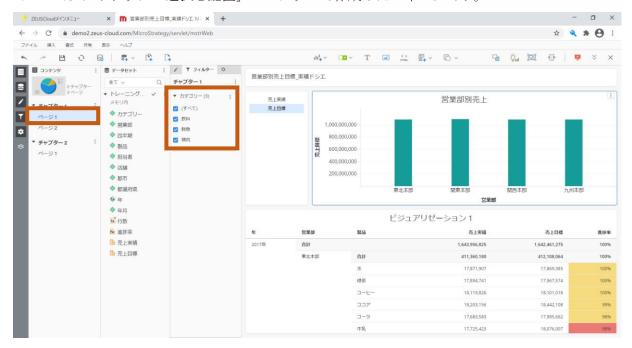
「ビジュアリゼーション 1」は「東北本部」でフィルタされますが、ターゲット選択していない「ビジュアリゼーション 2」ではフィルタされません。



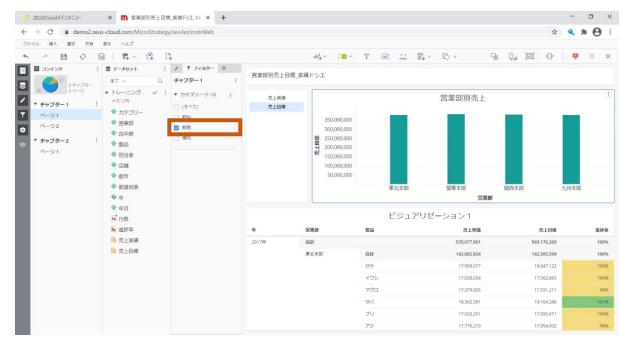
#### 5.19 同じチャプター内のフィルタ

「4.3 メトリックの選択と配置」のステップで作成したフィルタは、ページが異なっても同じチャプター内であれば、フィルタを共有します。

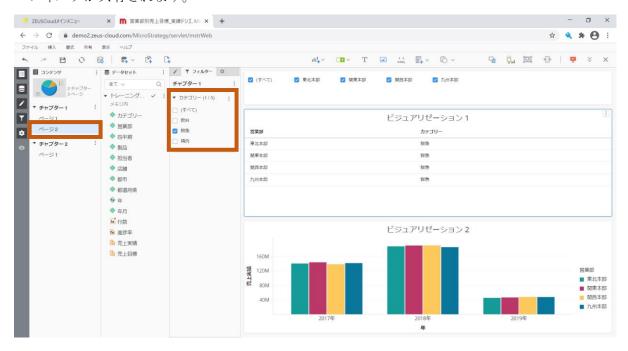
1. 「4.3 メトリックの選択と配置」のステップで作成したフィルタです。



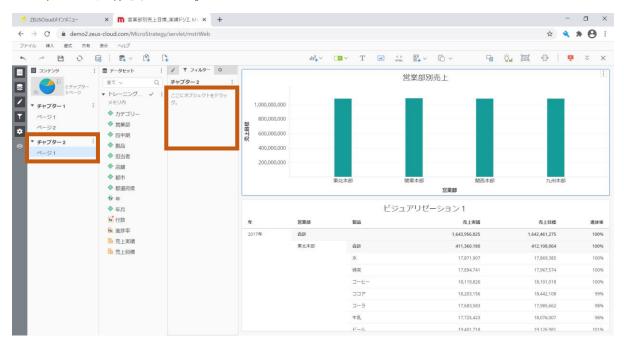
2. 「カテゴリー」フィルタの中から「鮮魚」のみを選択します。



●「ページ2」を選択した画面 フィルタが共有されます。



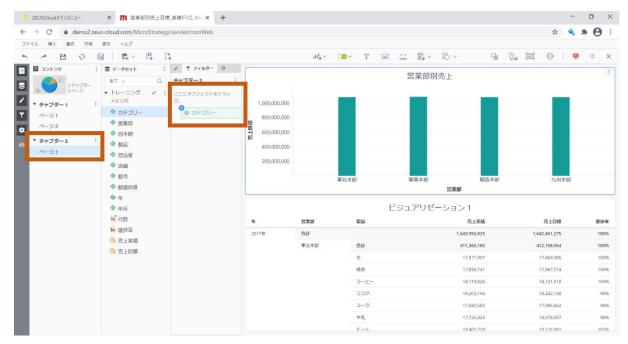
「チャプター2」を選択した画面 フィルタが共有されません。



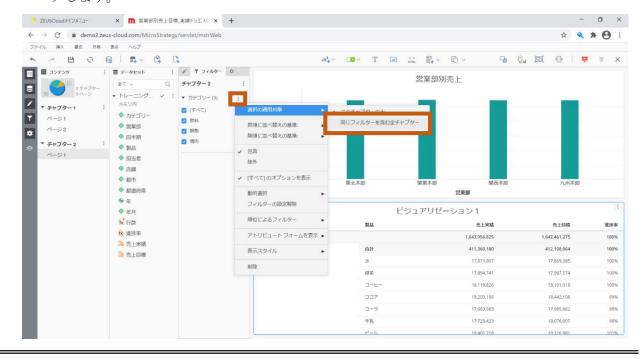
#### 5.20 フィルタの適用範囲

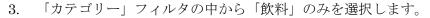
チャプターが異なる場合でも、同じフィルタを設定することで、フィルタ情報を引き継ぐこと ができます。

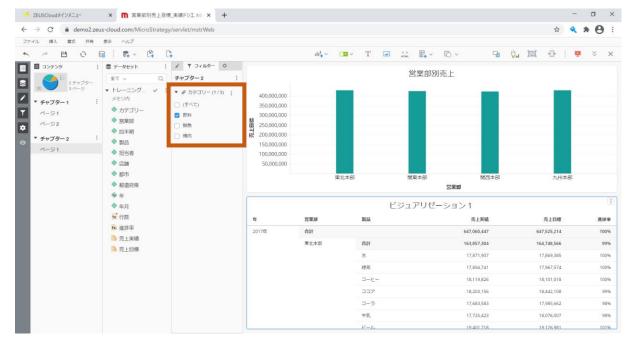
1. 「チャプター2」の状態で「カテゴリー」をフィルタに追加します。 ※「チャプター1」に適用しているフィルタと同じ設定をします。



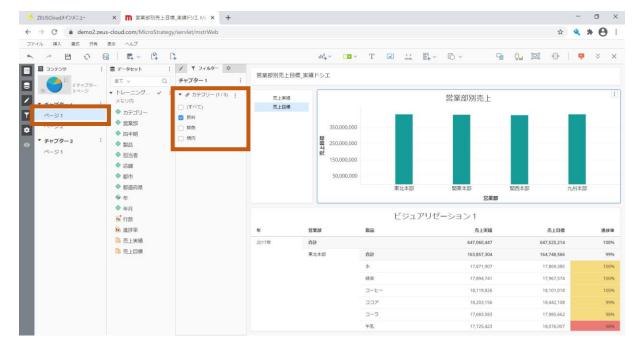
2. 「カテゴリー」フィルタ右上の「…」をクリックしてメニューを表示します。 「選択の適用対象」にマウスオーバーし、「同じフィルターを含む全チャプター」をクリックします。







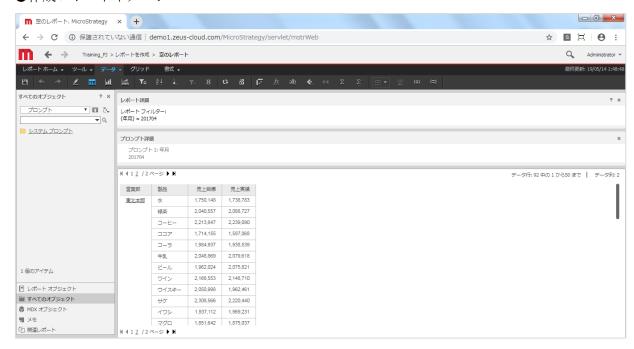
●「チャプター1」を選択した画面 「飲料」のみにフィルタされています。フィルタ情報が引き継がれている状態です。



# 6 レポート作成 -基礎-

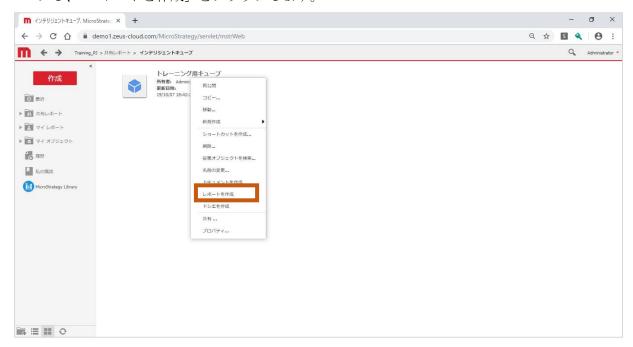
この章では、レポートの基本的な作成方法を説明します。

●作成レポートイメージ



#### 6.1 レポートの作成

「共有レポート」>「インテリジェントキューブ」>「トレーニングキューブ」を右クリックし、「レポートを作成」をクリックします。

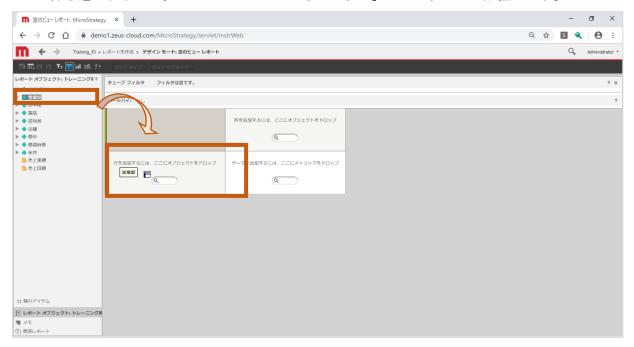


#### ●初期画面

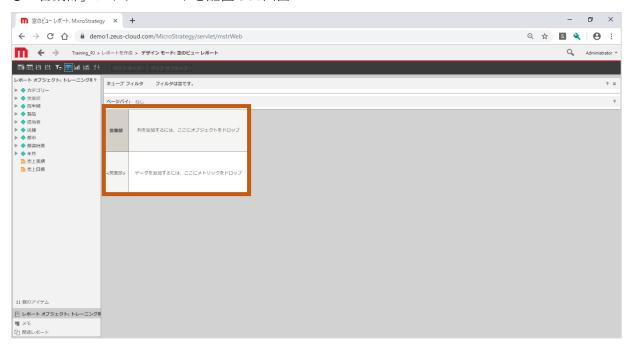


### 6.2 アトリビュートの選択と配置

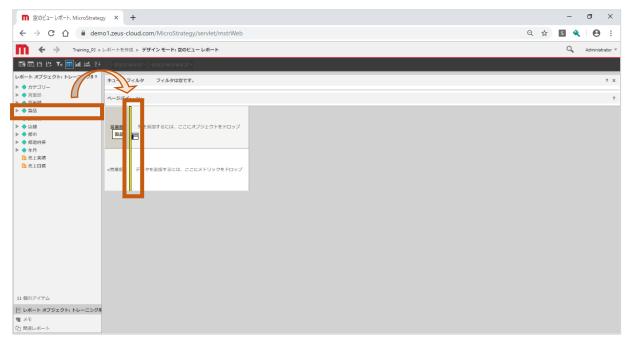
1. 一覧より「営業部」アトリビュートをドラッグし、 「行を追加するには、ここにオブジェクトをドロップ」へドロップして配置します。



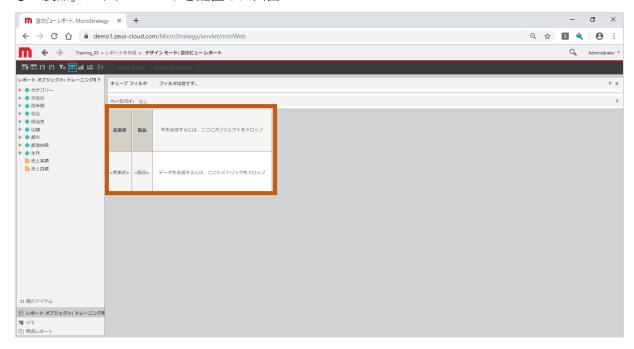
●「営業部」アトリビュートを配置した画面



2. 続けて「製品」アトリビュートをドラッグし、「営業部」アトリビュートの右側へドロップして、配置します。

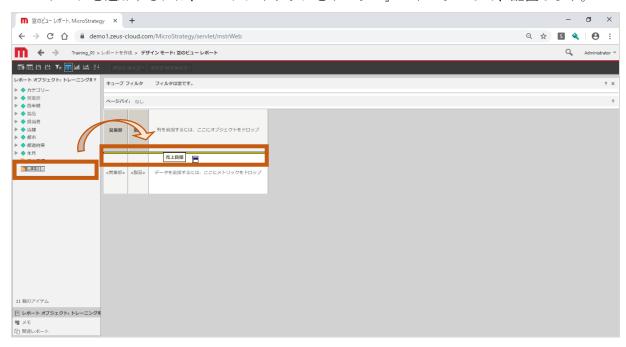


# ●「製品」アトリビュートを配置した画面

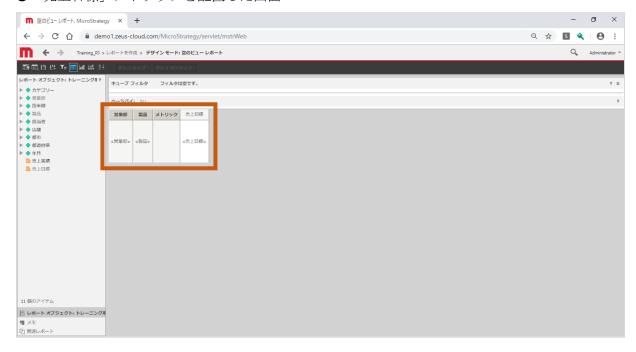


# 6.3 メトリックの選択と配置

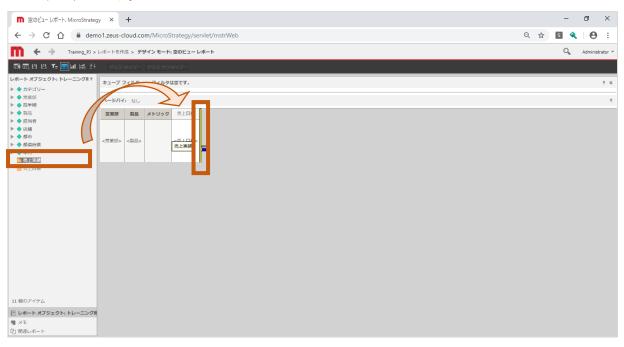
1. 一覧より「売上目標」メトリックをドラッグし、 「データを追加するには、ここにメトリックをドロップ」へドロップして、配置します。



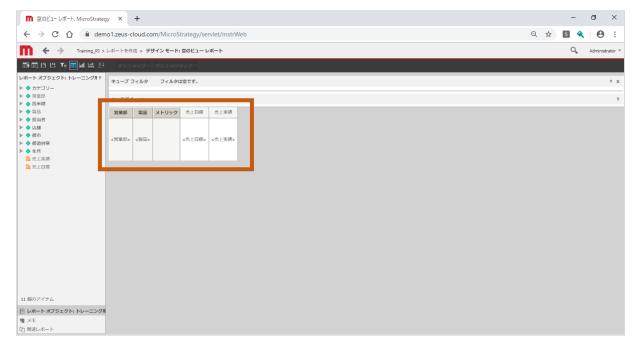
●「売上目標」メトリックを配置した画面



2. 続けて「売上実績」メトリックをドラッグし、「売上目標」メトリックの右側へドロップして、配置します。

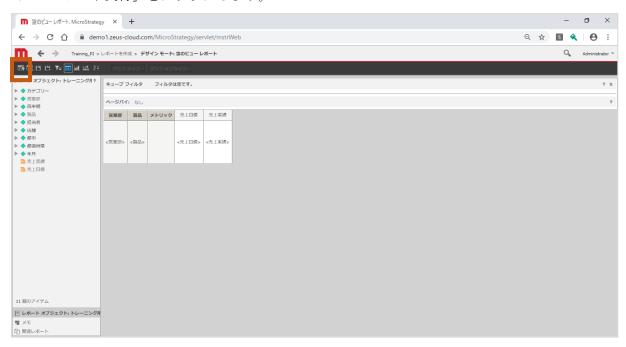


●「売上実績」メトリックを配置した画面

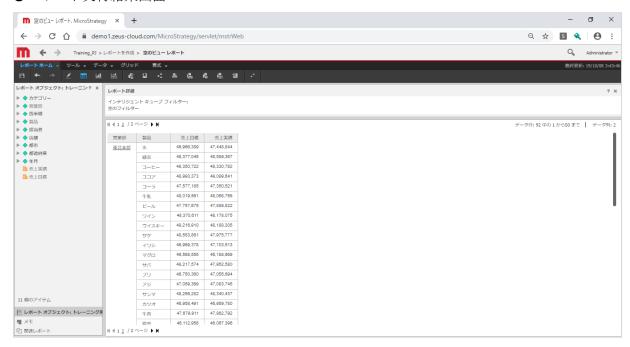


#### 6.4 レポート実行

1. 「レポート実行」をクリックします。

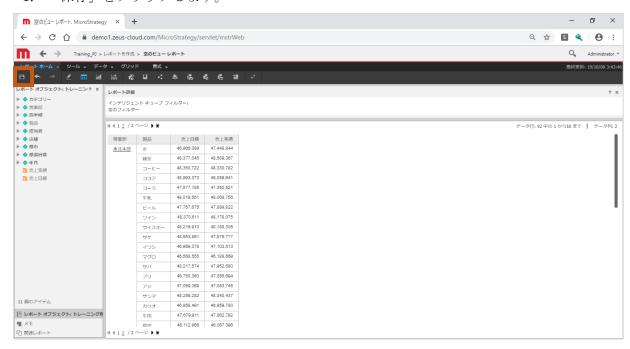


## ●レポート実行結果画面

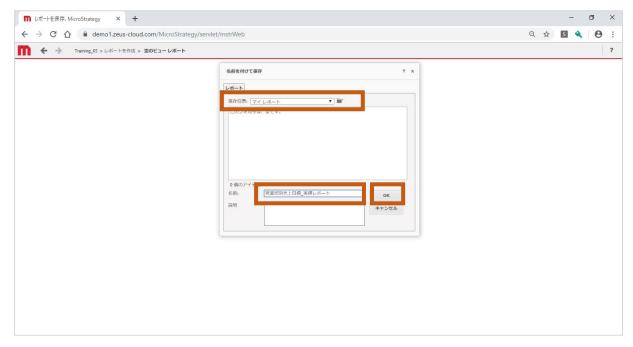


#### 6.5 レポート保存

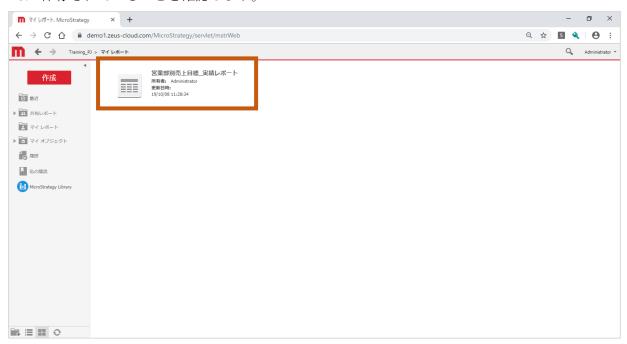
1. 「保存」をクリックします。



2. 保存位置は「マイレポート」を選択します。名前は「営業部別売上目標\_実績レポート」と 入力し、「OK」をクリックして、レポートを保存します。



3. 保存されていることを確認します。



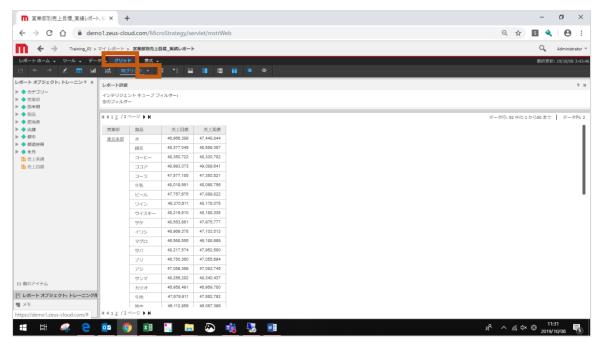
# 7 レポート作成 -応用-

この章では、レポートで詳細な分析が行えるように、応用的な使い方を説明します。

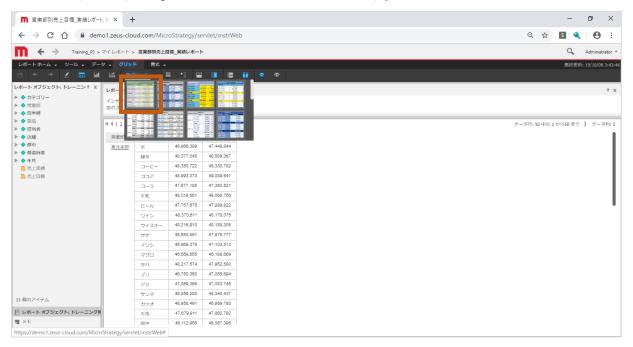
## 7.1 オートスタイル

オートスタイルとは、フォントやカラーなどの書式設定を保存したもので、レポートの書式設定 を自動的に変えることが可能です。

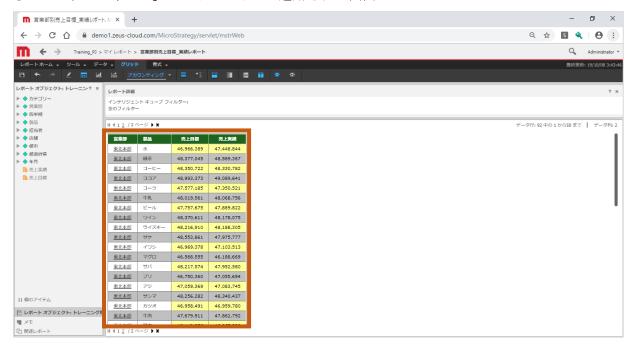
1. 「営業部別売上目標\_実績レポート」を開き、 「グリッド」をクリックし、ドロップダウンリストをクリックします。



2. 「アカウンティング」オートスタイルをクリックします。

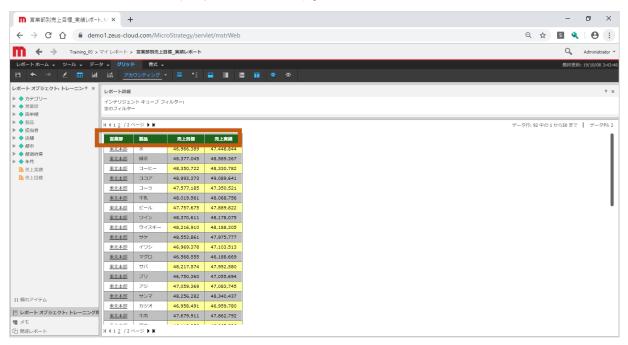


●「アカウンティング」オートスタイルが適用された画面

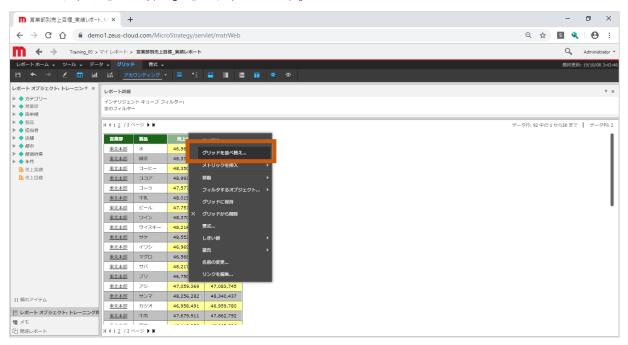


#### 7.2 並び替え

1. グリッド表のヘッダー部を右クリックします。

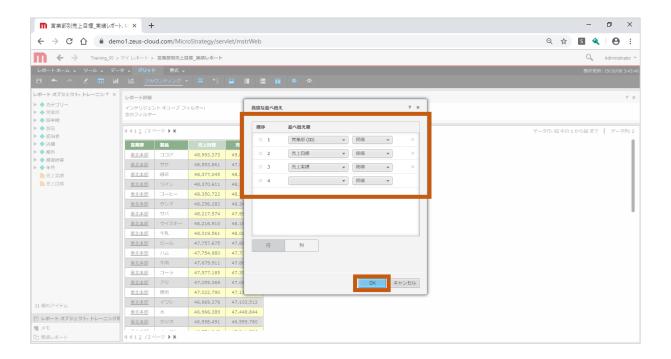


2. 「グリッドを並べ替え」をクリックします。

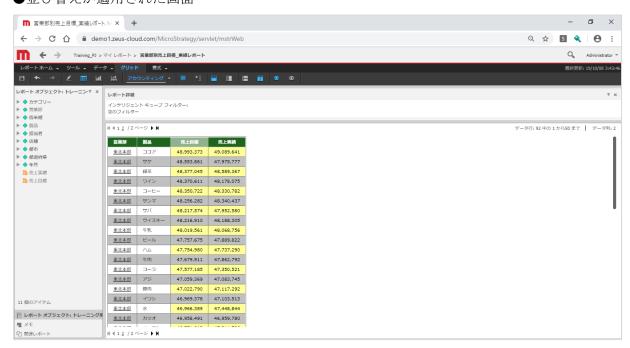


3. 「並べ替え項目」「昇順/降順」を下記表の通りに変更し、「OK」をクリックします。

#	並び替え項目	昇順/降順
1	営業部(ID)	昇順
2	売上目標	降順
3	売上実績	降順

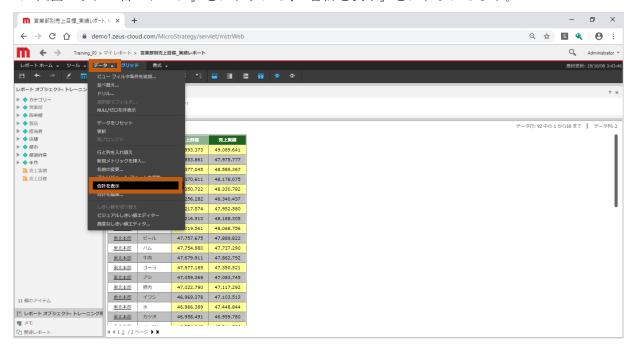


#### ●並び替えが適用された画面

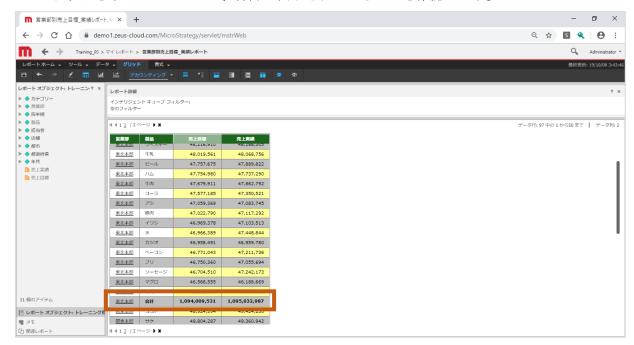


#### 7.3 合計表示

1. 画面ヘッダー部「データ」をクリックし、「合計を表示」をクリックします。

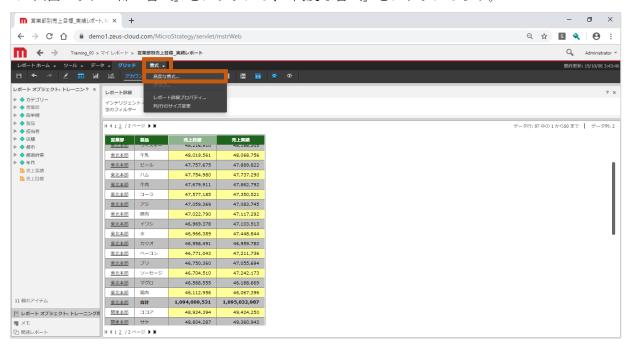


2. グリッドを下にスクロールし、合計が表示されていることを確認します。

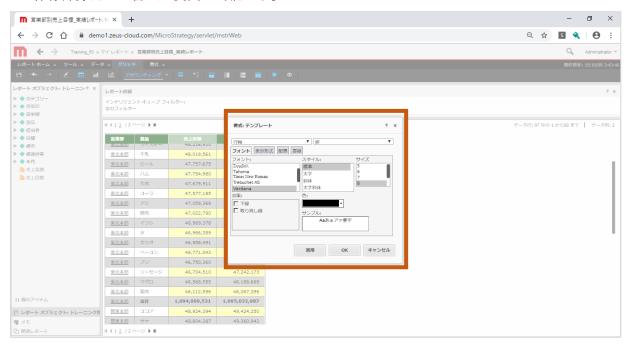


#### 7.4 書式設定

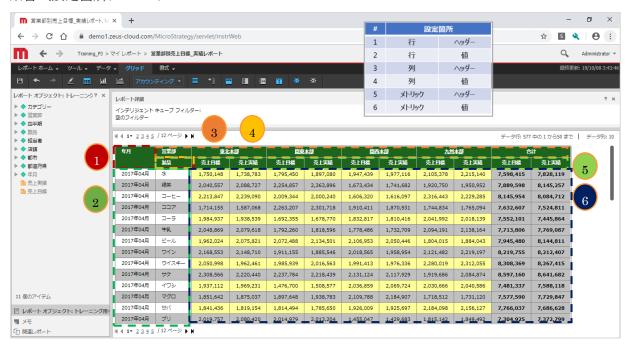
1. 画面ヘッダー部「書式」をクリックし、「高度な書式」をクリックします。



2. 枠線部分内にて書式の変更が可能です。

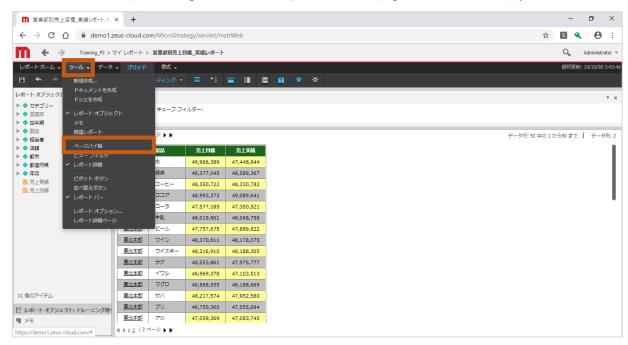


## ※書式設定箇所について

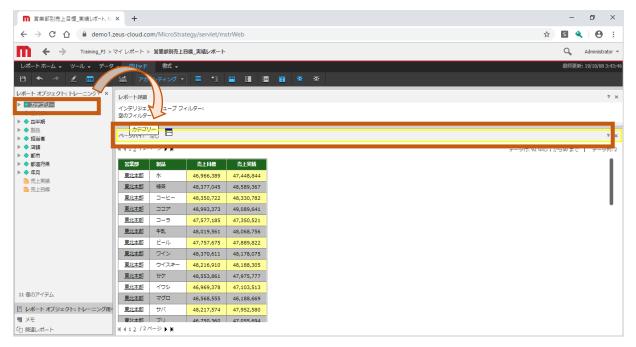


## 7.5 ページバイ

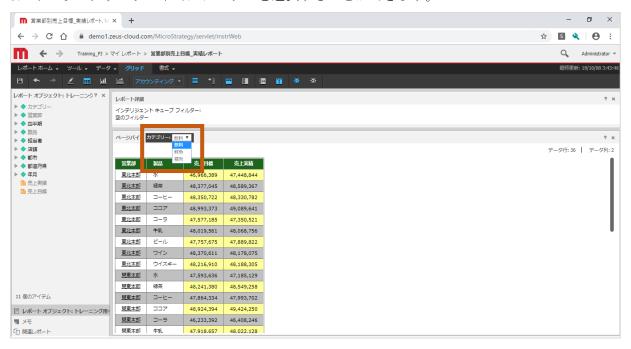
1. 画面ヘッダー部「ツール」をクリックし、「ページバイ軸」をクリックします。



2. 一覧より、「カテゴリー」アトリビュートをドラッグし、ページバイ部へドロップして、配置します。

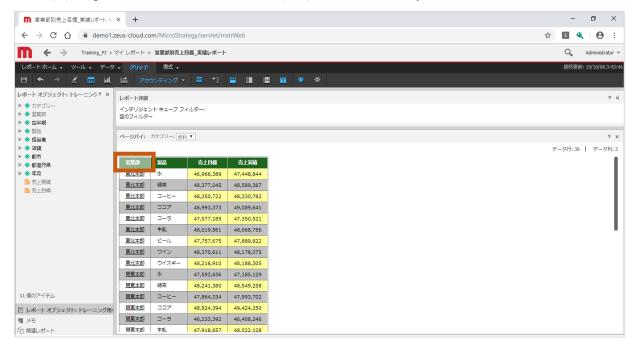


3. ドロップダウンリストでカテゴリーを選択することができます。

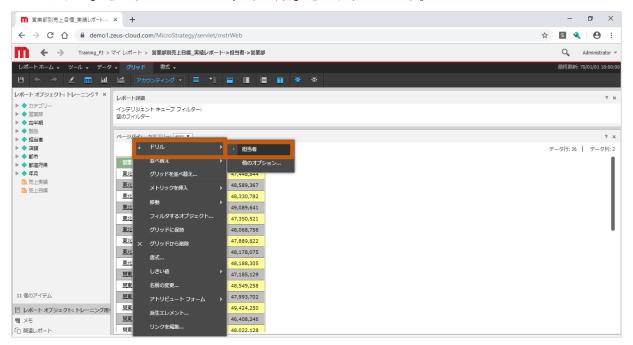


#### 7.6 ドリル

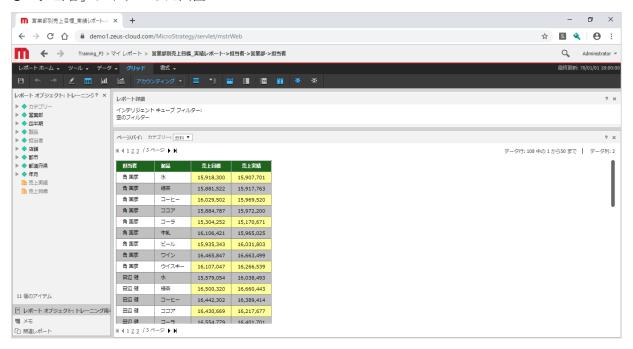
1. 「営業部」アトリビュートのヘッダー部を右クリックします。



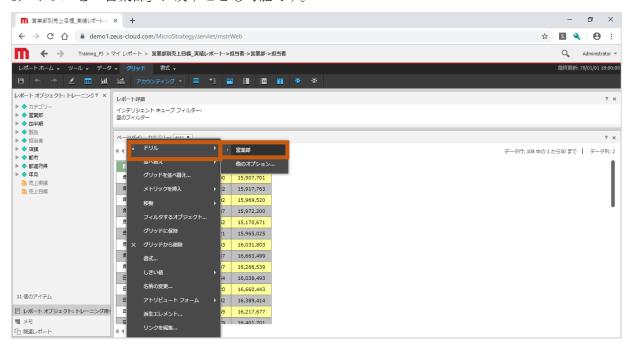
2. 「ドリル」をマウスオーバーし、「担当者」をクリックします。



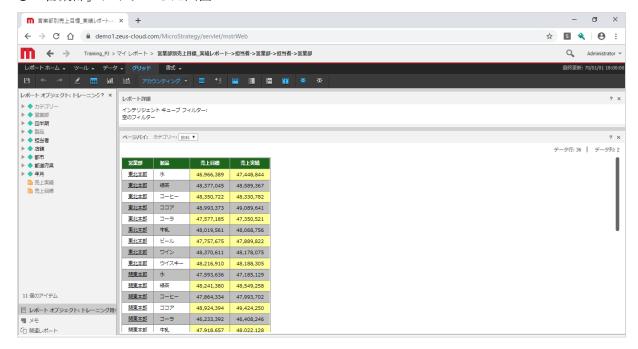
#### ●「担当者」にドリルした画面



3. ドリルを「営業部」に戻すことも可能です。

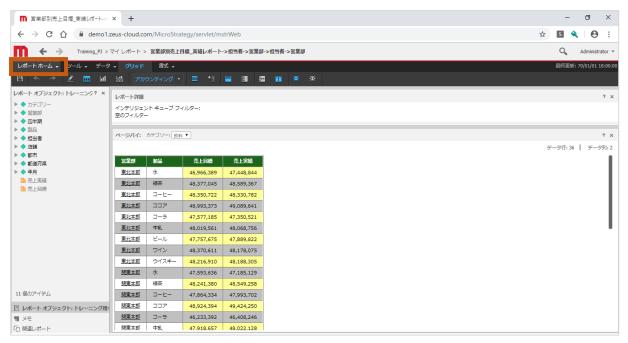


## ●「営業部」にドリルした画面

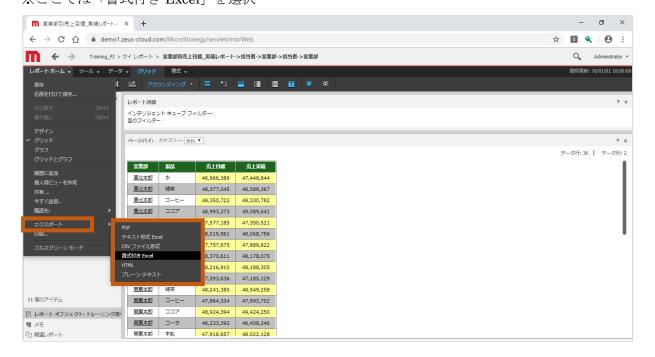


## 7.7 エクスポート

1. 画面ヘッダー部「レポートホーム」をクリックします。



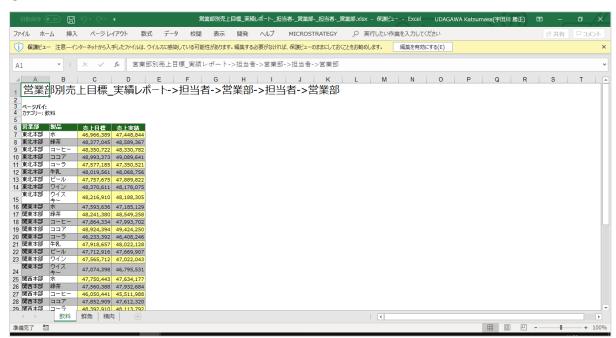
2. 「エクスポート」を選択し、エクスポートしたい形式を選択します。 ※ここでは「書式付き Excel」を選択



 エクスポート設定画面にて、「すべてのページバイフィールドを拡張」および 「各ページを異なるワークシートに配置」にチェックを入れます。 ページバイのデータを、Excel の各シートに出力することが可能です。

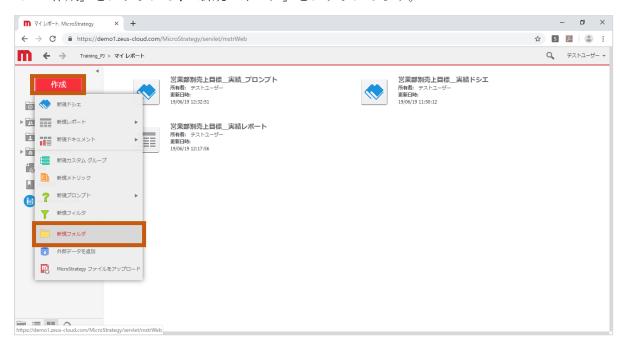


●エクスポートした Excel

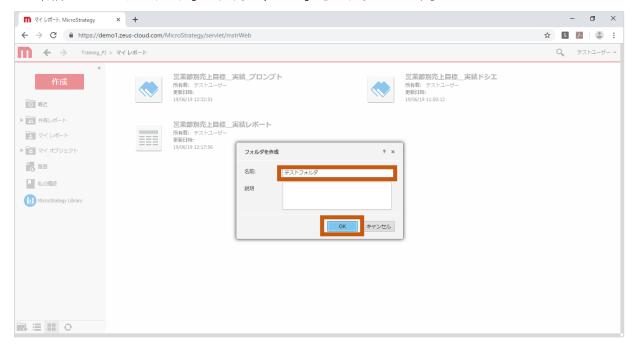


# 7.8 フォルダ作成

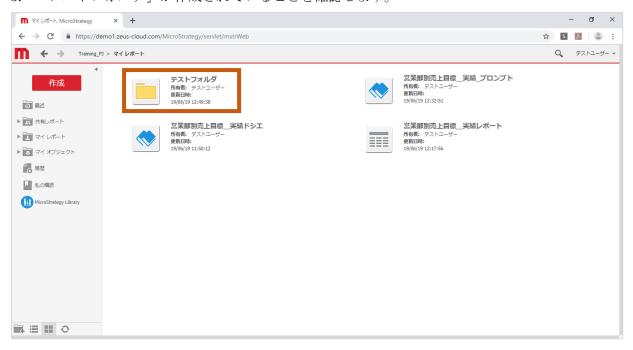
1. 「作成」をクリックし、「新規フォルダ」をクリックします。



2. 名前に「テストフォルダ」と入力し、「OK」をクリックします。

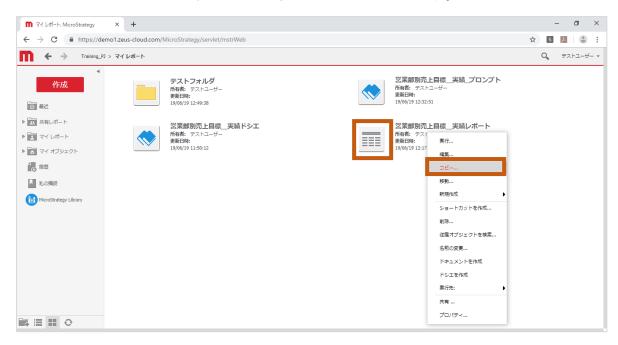


3. 「テストフォルダ」が作成されていることを確認します。

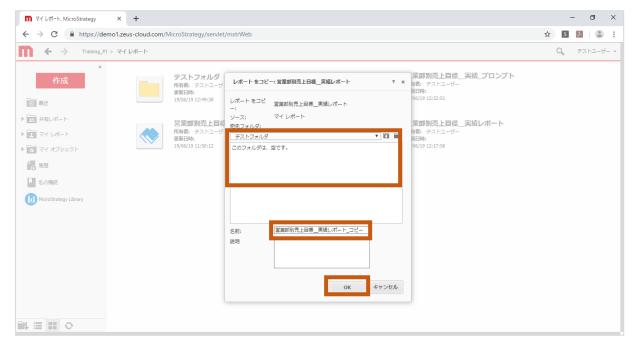


## 7.9 レポートコピー

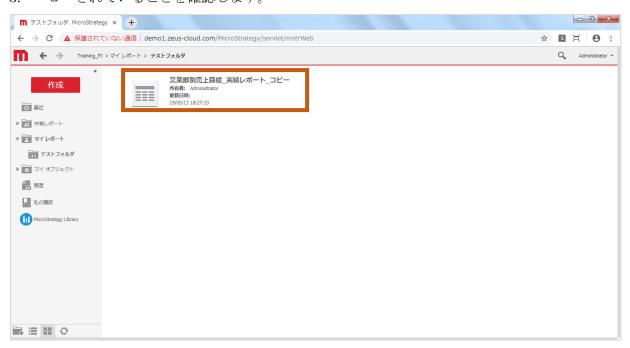
1. コピーしたいレポートを右クリックし、コピーをクリックします。



2. 「テストフォルダ」内の名前に「営業部別売上目標\_実績レポートコピー」と入力し、「OK」 をクリックします。



3. コピーされていることを確認します。



# 8 ドキュメント -基礎-

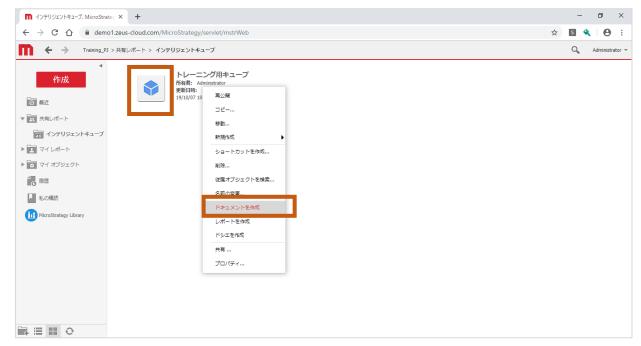
この章では、ドキュメントの基本的な作成方法を説明します。

●作成ドキュメントイメージ

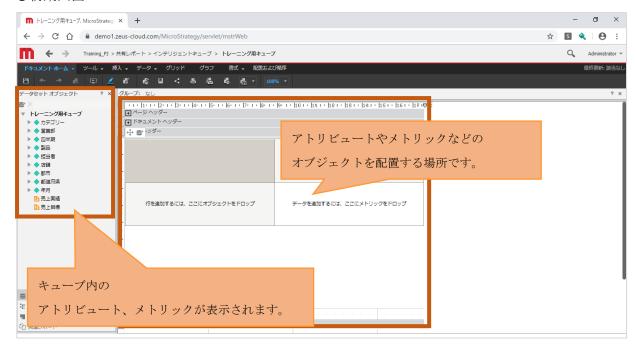


# 8.1 ドキュメントの作成 (レポートをデータセットとして作成)

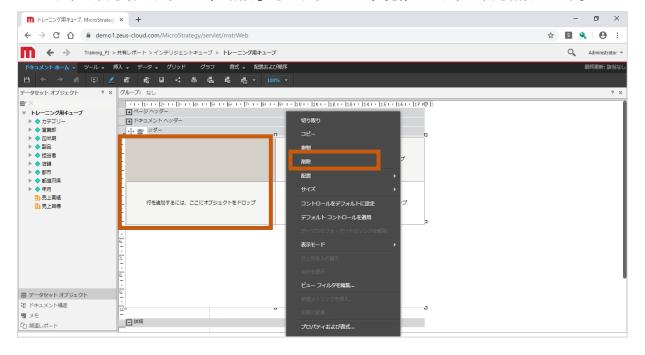
1. データソースとして使用するインテリジェントキューブを右クリックし、「ドキュメントを 作成」をクリックします。



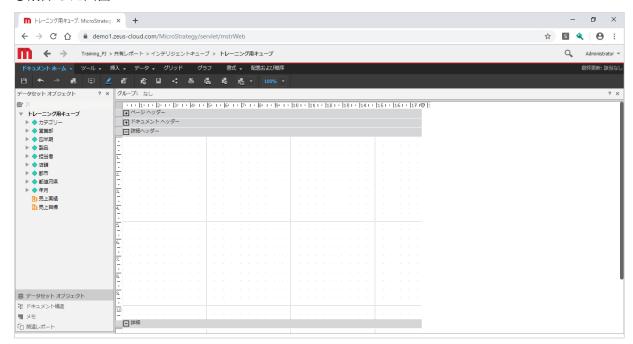
#### ●初期画面



2. グリッド表を右クリックし、「削除」をクリックして、既存のグリッド表を削除します。

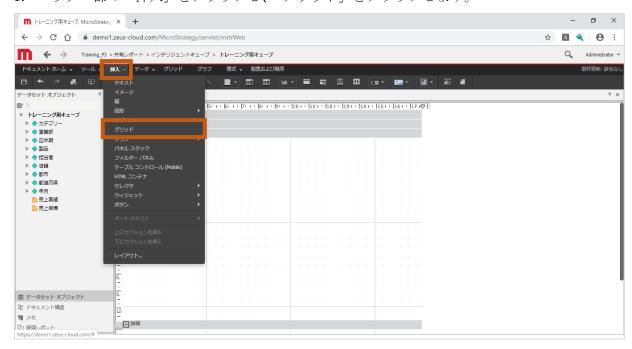


# ●削除した画面

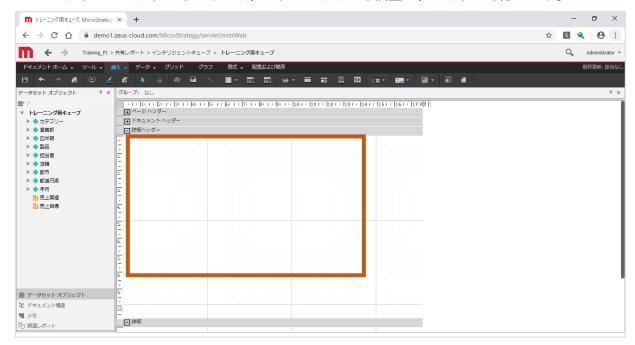


## 8.2 グリッド表の追加

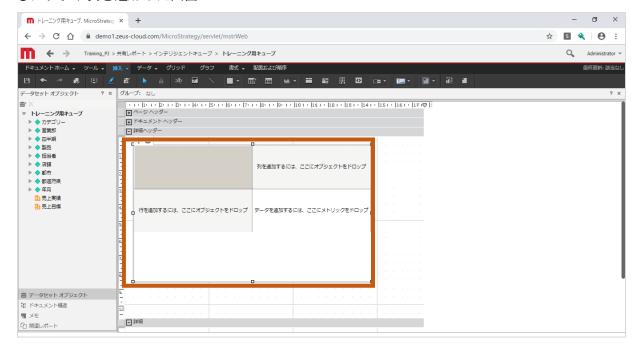
1. ヘッダー部の「挿入」をクリックし、「グリッド」をクリックします。



2. 左クリックでドラッグをしながら、マウスでサイズを調整し、クリックを離します。

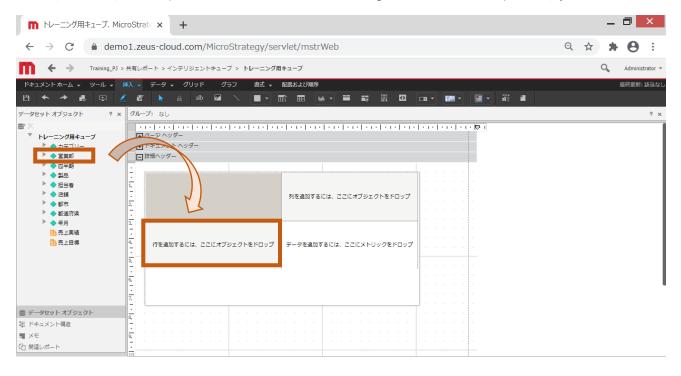


# ●グリッド表を追加した画面

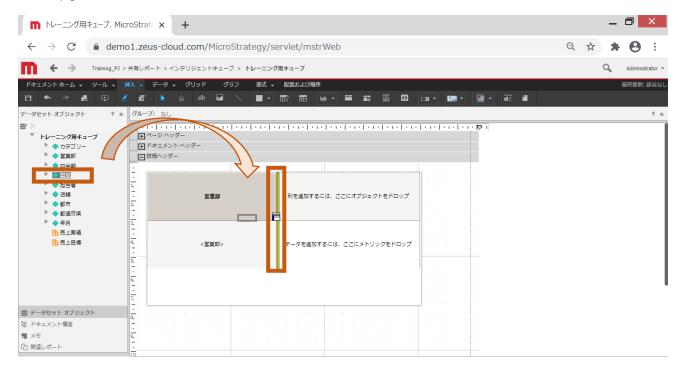


#### 8.3 アトリビュートの選択と配置

1. データセットオブジェクトより、「営業部」アトリビュートをドラッグし、 「行を追加するには、ここにオブジェクトをドロップ」へドロップして配置します。



2. 続けて「製品」アトリビュートを、「営業部」アトリビュートの右側へドロップして配置します。

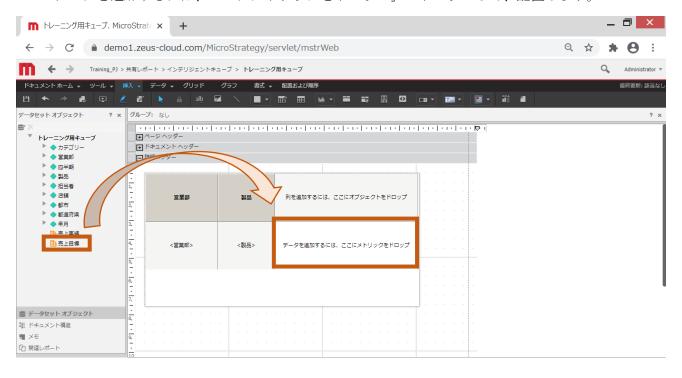


## ●「製品」アトリビュートを配置した画面

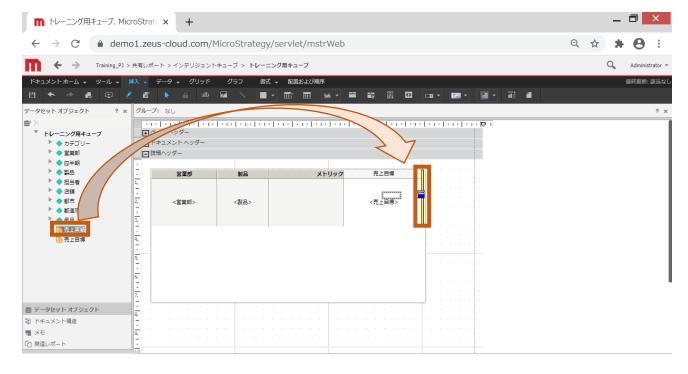


#### 8.4 メトリックの選択と配置

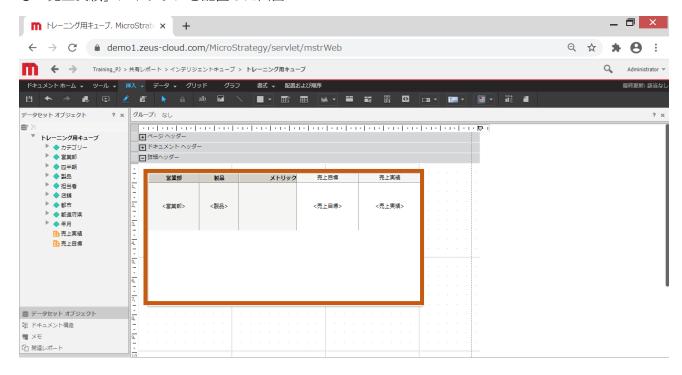
1. データセットオブジェクトより、「売上目標」メトリックをドラッグし、 「データを追加するには、ここにメトリックをドロップ」へドロップして、配置します。



2. 「売上実績」メトリックを、「売上目標」メトリックの右側へドロップして、配置します。



## ●「売上実績」メトリックを配置した画面

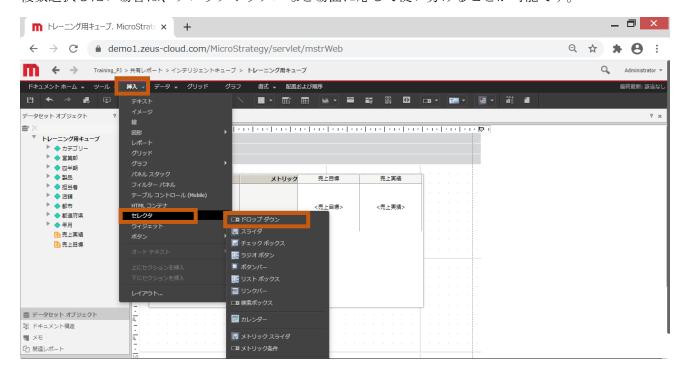


#### 8.5 セレクタの追加

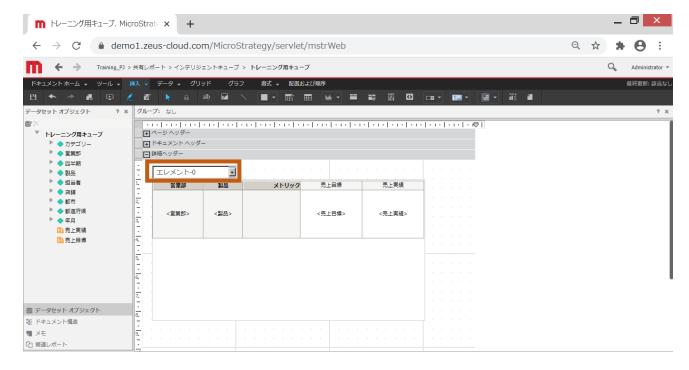
1. ヘッダー部の「挿入」をクリックし、「セレクタ」をマウスオーバーし、「ドロップダウン」をクリックします。

※ドロップダウンでは、1つのエレメントしか選択できませんが、

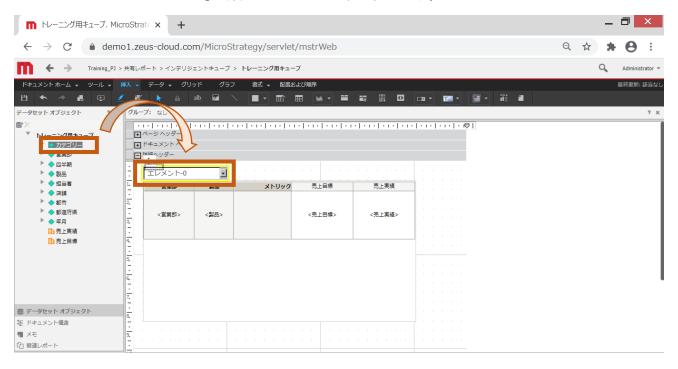
複数選択したい場合は、チェックボックスなど場面に応じて使い分けることが可能です。



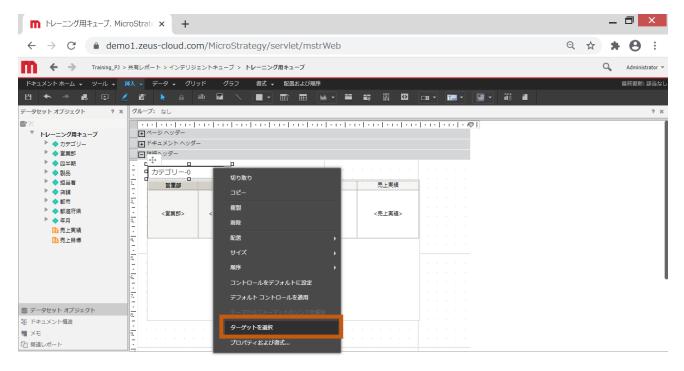
2. 左クリックでドラッグをしながら、マウスでサイズを調整し、クリックを離します。



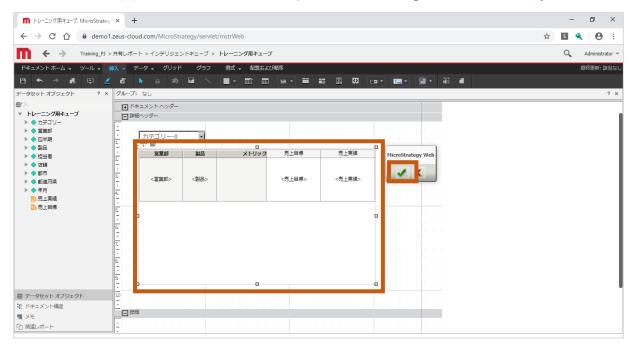
3. データセットオブジェクトより「カテゴリー」アトリビュートをドラッグし、 セレクタの「エレメント-0」部分へドロップして、配置します。



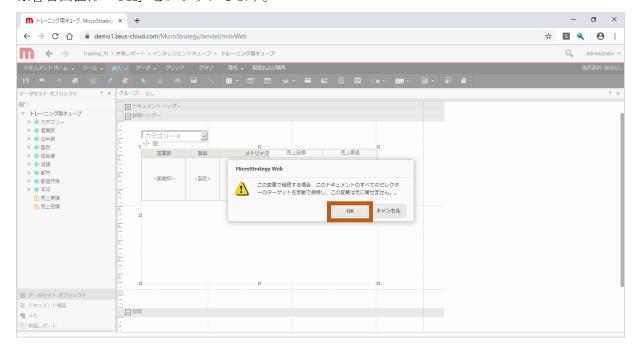
4. セレクタを右クリックし、「ターゲットを選択」をクリックします。



5. ターゲット対象のグリッドをクリックし、「チェックボタン」をクリックします。

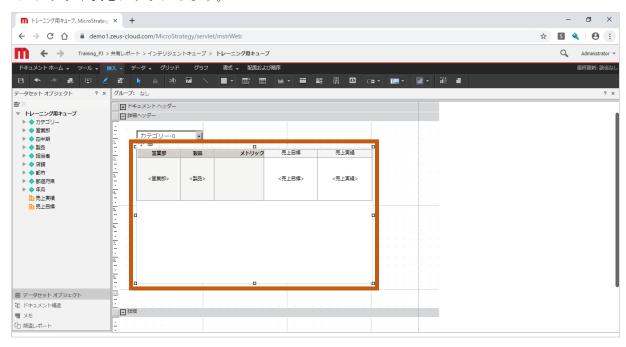


※警告画面は「OK」をクリックします。

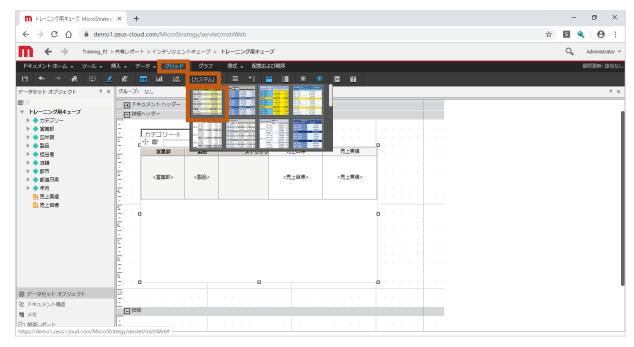


# 8.6 オートスタイル

1. グリッド表をクリックします。

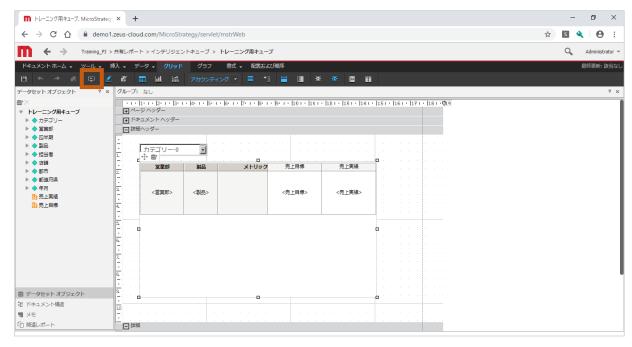


2. 「グリッド」をクリックして、「(カスタム)」をクリックし、ドロップダウンリストから 「アカウンティング」をクリックします。



## 8.7 ドキュメント実行

1. ヘッダー部の「プレゼンテーションモード」をクリックします。

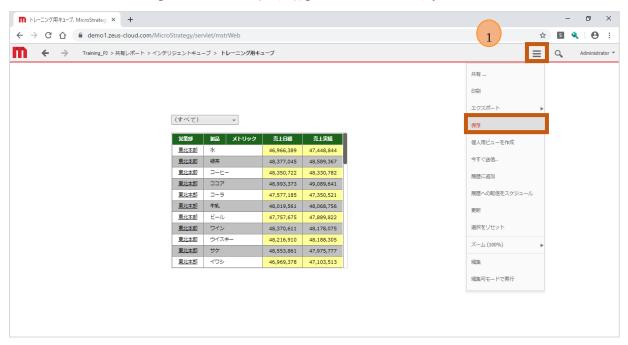


#### ●ドキュメント実行画面

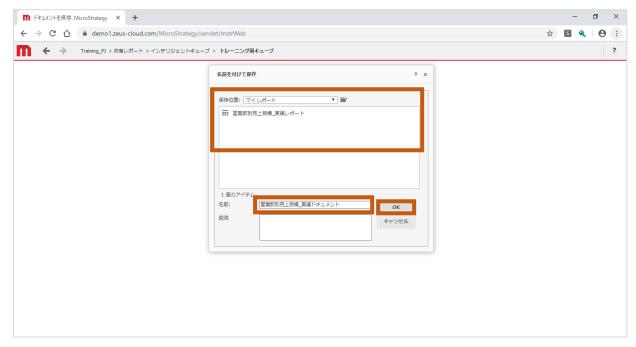


### 8.8 保存

1. 「バーガーメニュー」をクリックし、「保存」をクリックします。



2. 保存位置は「マイレポート」を選択し、名前は「営業部別売上目標\_実績ドキュメント」と 入力します。その後、「OK」をクリックして、ドキュメントを保存します。



3. 保存されていることを確認します。



## 9 ドキュメント -応用-

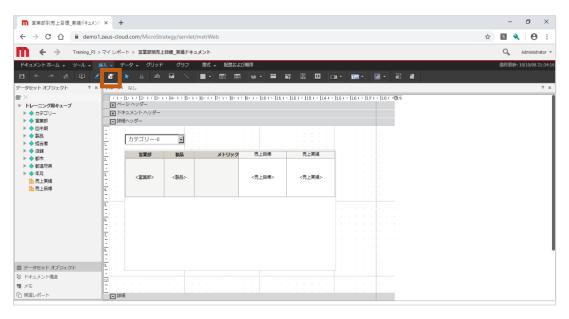
この章では、ドキュメントで詳細な分析が行えるように、応用的な使い方を説明します。

### 9.1 編集可モード

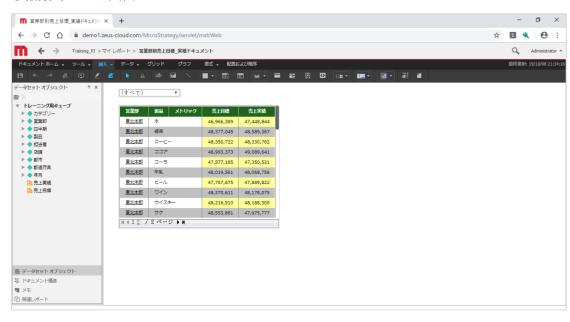
実データや各部品のサイズを参照しながら編集が可能です。

ただし、デザインモードで編集できますが、編集可モードでは編集できない設定も存在します。 ※「営業部別売上目標\_実績ドキュメント」を右クリックし、「編集」を選択します。

1. ヘッダー部の「編集可モード」を選択します。



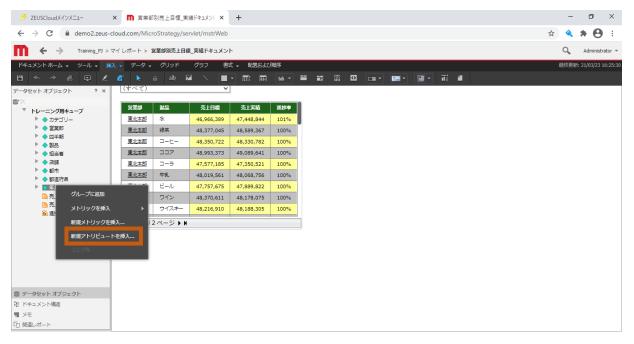
### ●編集可モード画面



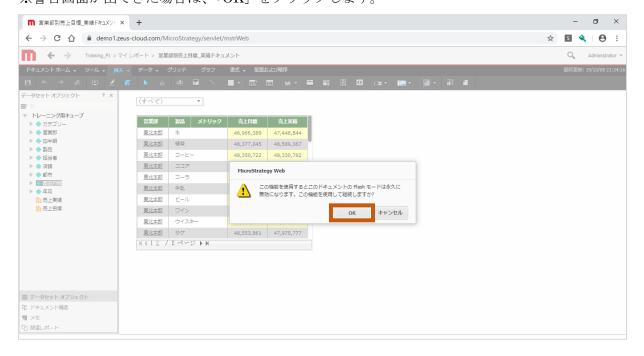
### 9.2 派生アトリビュートの作成

年月を表示するアトリビュートはありますが、年を表示するアトリビュートがないので、 アトリビュートを編集して、新しくアトリビュートを作成します。 この操作によって作成されたアトリビュートを、特に「派生アトリビュート」と呼びます。

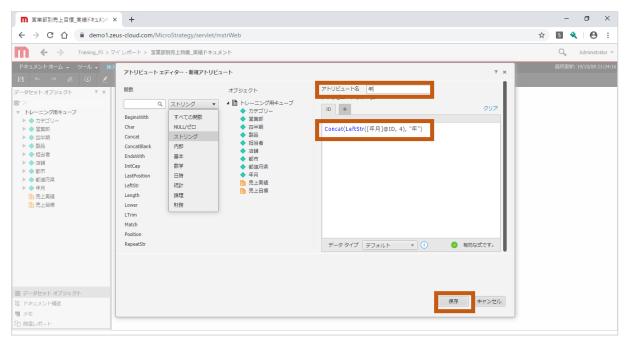
1. 任意のアトリビュート上(例では「年月」アトリビュート)で右クリックをし、「新規アトリビュートを挿入」をクリックします。



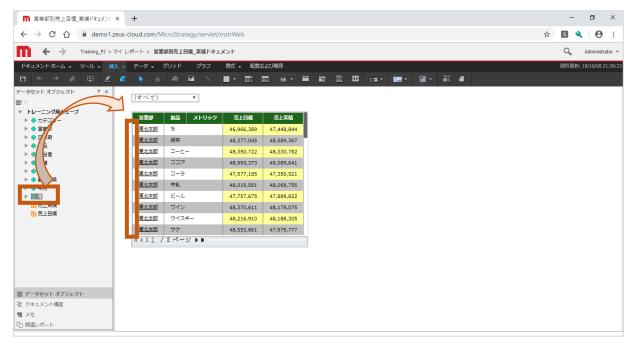
※警告画面が出てきた場合は、「OK」をクリックします。



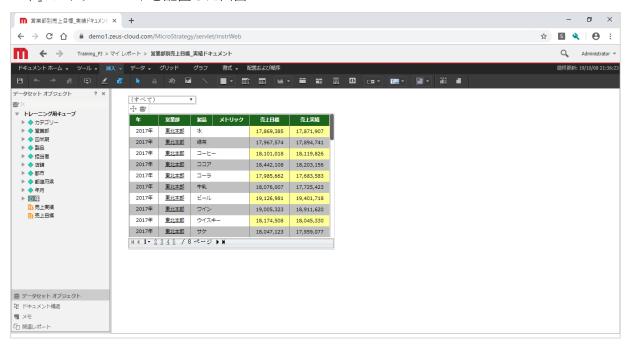
2. アトリビュート名に「年」、アトリビュートフォームに「Concat(LeftStr(年月@ID, 4), "年")」 と入力し、「保存」をクリックします。



3. 「年」アトリビュートをグリッドにドラッグアンドドロップし、配置します。



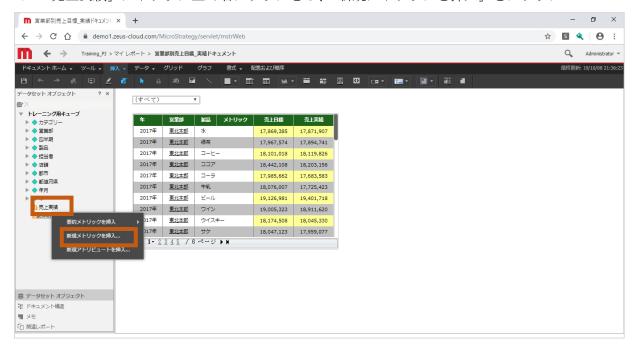
## 「年」アトリビュートを配置した画面



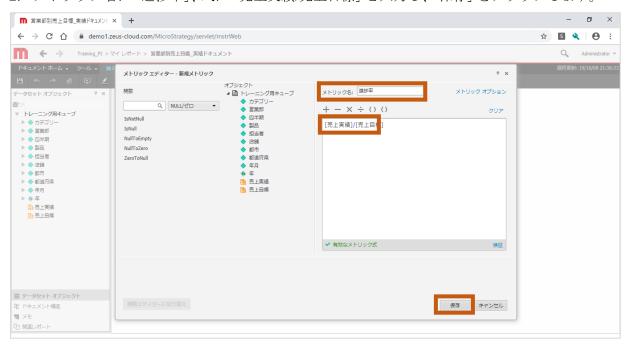
### 9.3 派生メトリックの作成

売上実績と売上目標のメトリックがあるので、進捗率を表すメトリックを作成します。 派生アトリビュートと同様に、メトリックを編集して、新しくメトリックを作成します。 この操作によって作成されたメトリックを、特に「派生メトリック」と呼びます。

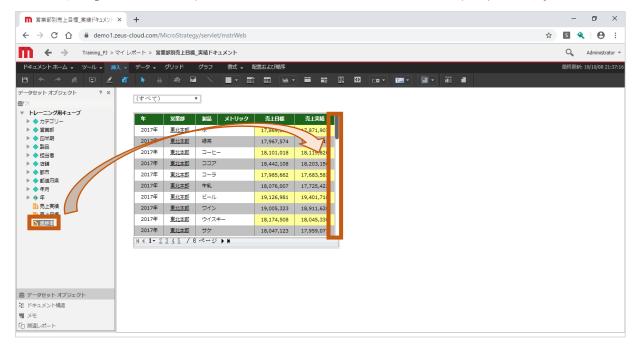
1. 「売上実績」メトリック上で右クリックをし、「新規メトリックを挿入」をクリック



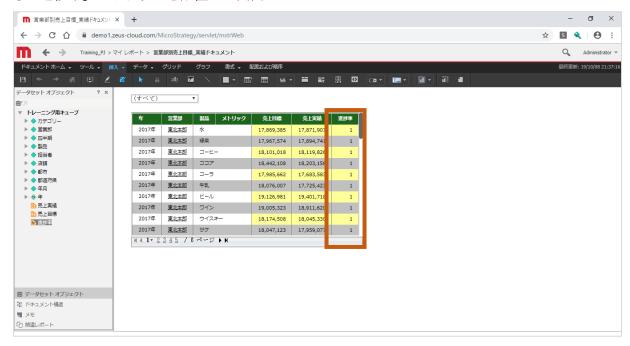
2. メトリック名に「進捗率」、式に「売上実績/売上目標」と入力し、「保存」をクリックします。



3. 「進捗率」メトリックを、グリッドにドラッグアンドドロップして、配置します。

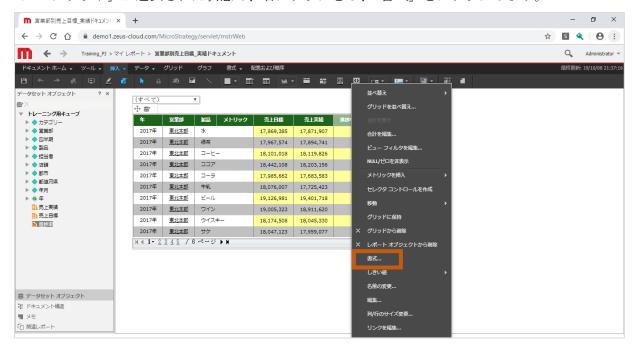


●「進捗率」メトリックを配置した画面

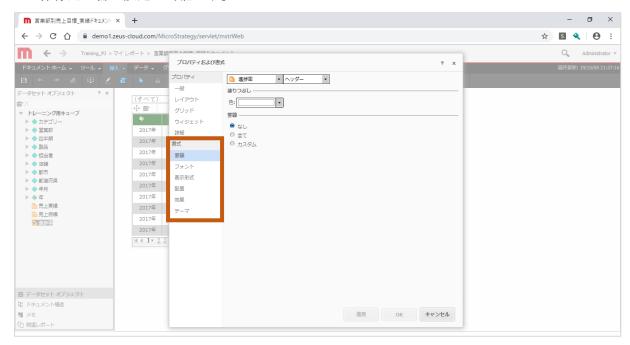


### 9.4 書式設定

1. 「グリッド」が選択された状態で、右クリックをし、「書式」をクリックします。



2. 枠線内で書式設定が可能です。

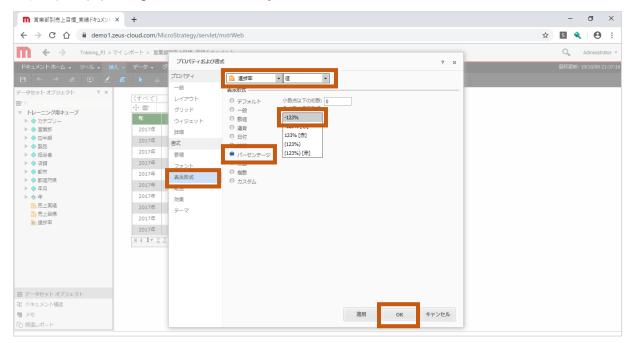


※書式から「表示形式」をクリックします。

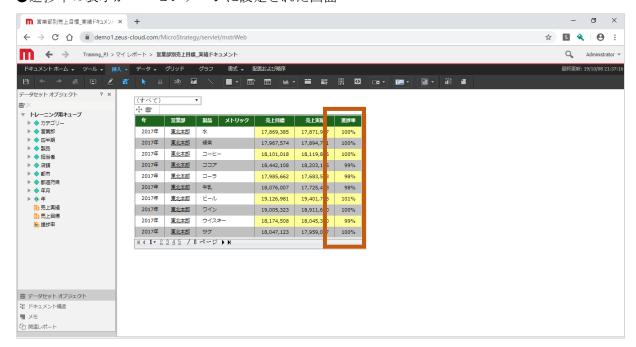
ドロップダウンリストから「進捗率」と「値」を選択します。

表示形式「パーセンテージ」と「-123%」を選択します。

設定完了後、「OK」をクリックします。

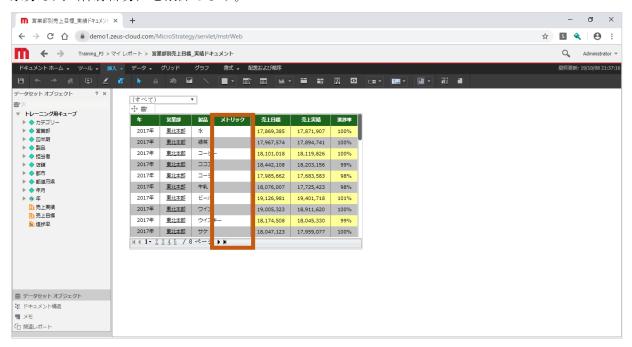


●進捗率の表示がパーセンテージに設定された画面

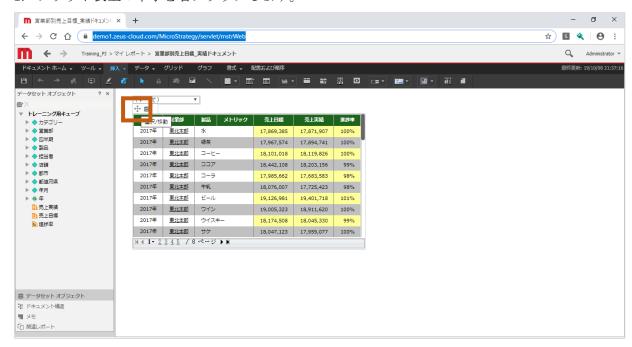


# 9.5 余分な列の削除

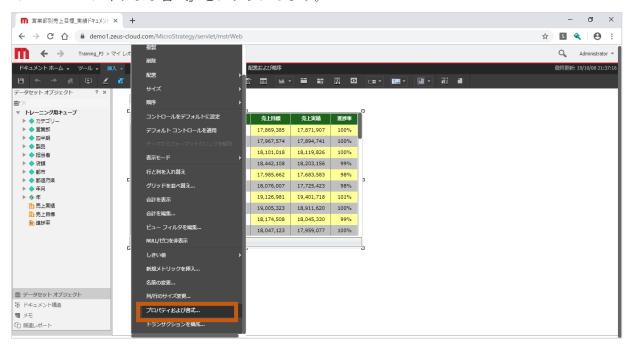
余分な列(枠線部分)を削除します。



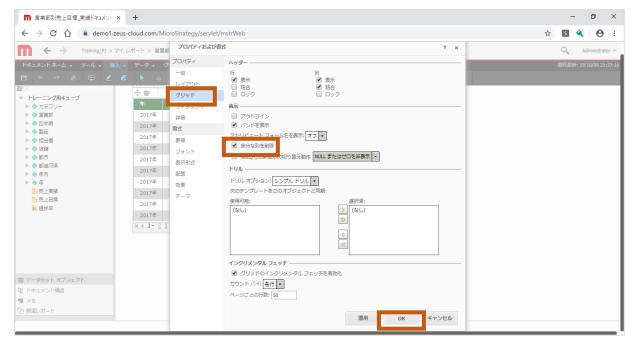
1. グリッド表上の十字を右クリックします。



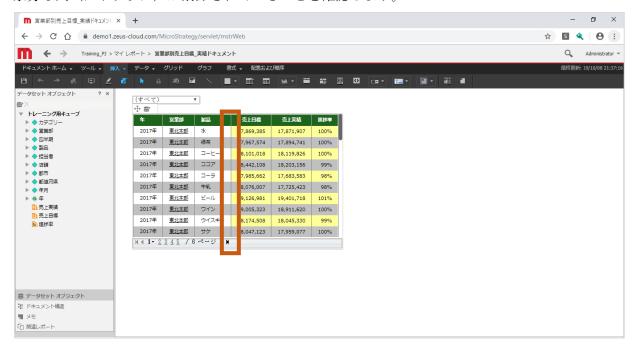
2. 「プロパティおよび書式」をクリックします。



3. 「グリッド」をクリックし、「余分な列を削除」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



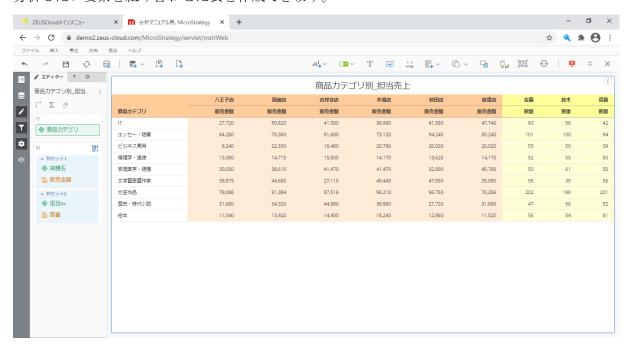
余分な列(メトリック)が削除されていることを確認します。



# 10 ビジュアリゼーション (参考)

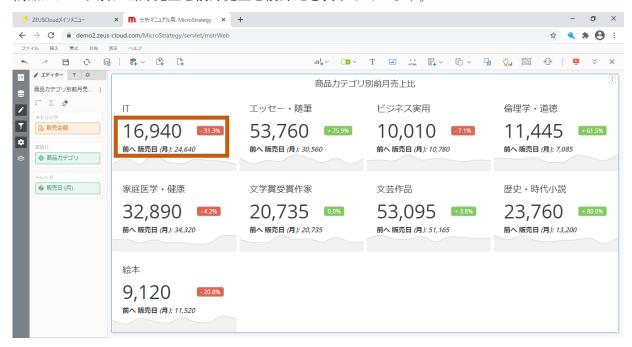
# 10.1 複合グリッド

商品カテゴリごとに、店舗別の販売金額と、担当者別の数量を可視化しています。 分析したい要素を組み合わせた表を作成できます。

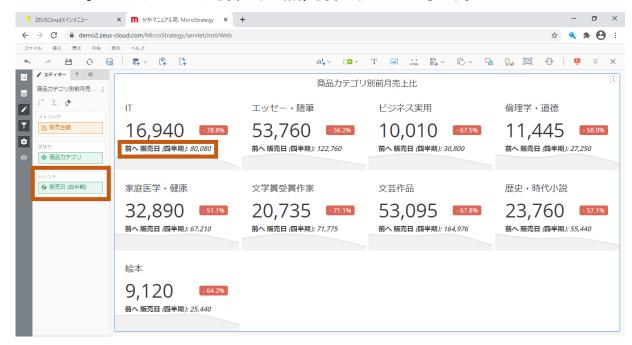


#### 10.2 KPI

商品カテゴリ別に当月売上と前月売上と前月比を表示しています。

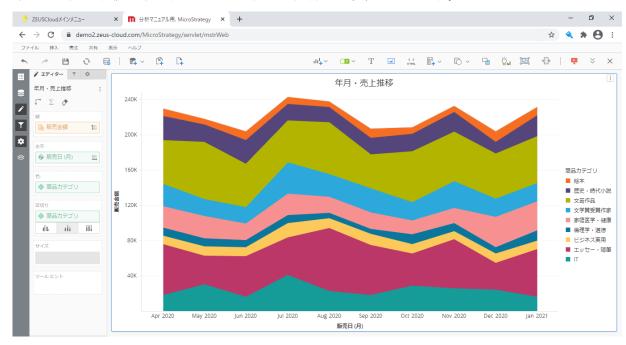


「トレンド」のアトリビュートを変えると指標を変えることができます。



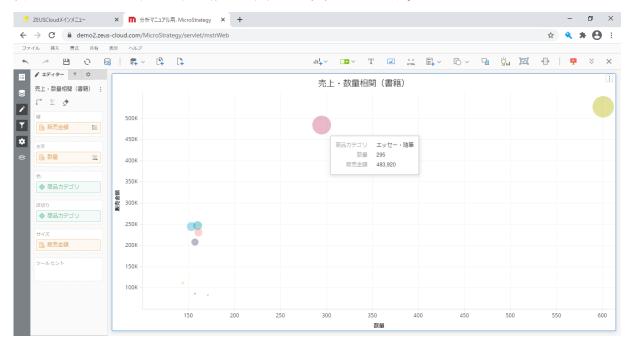
# 10.3 領域グラフ

年月での売上推移の中で各カテゴリが占める割合を可視化しています。



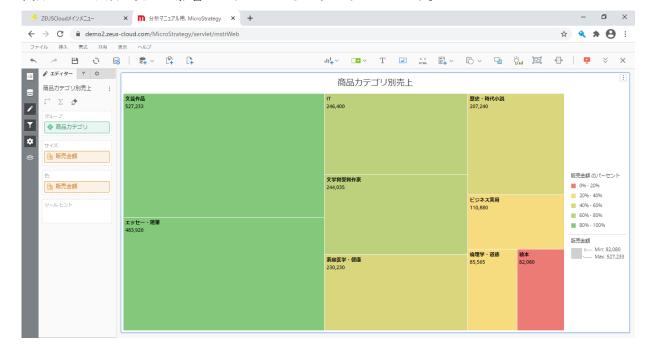
## 10.4 バブルグラフ

商品カテゴリごとの売上と売上数量の相関を可視化しています。



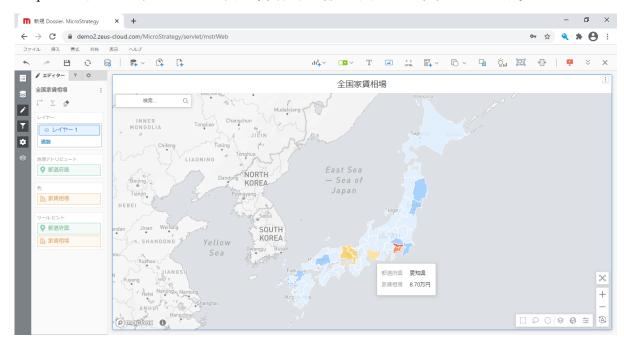
### 10.5 ヒートマップ

商品カテゴリ別の売上の影響が一目でわかるようになっています。

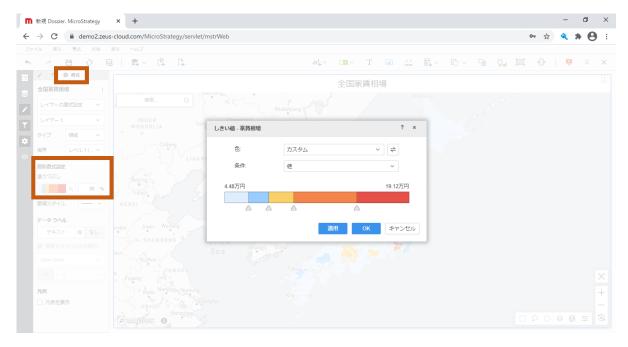


## 10.6 地理情報システム

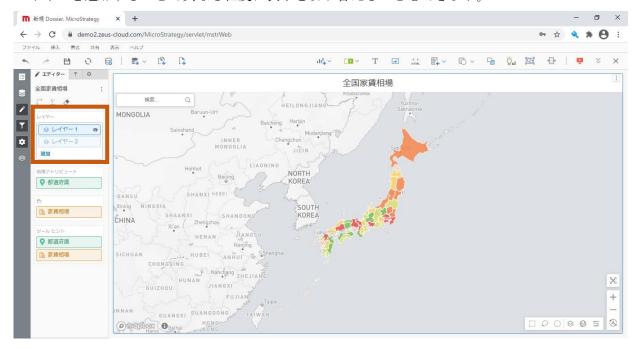
Mapbox を利用して、地図上で全国の家賃相場を都道府県別に可視化しています。



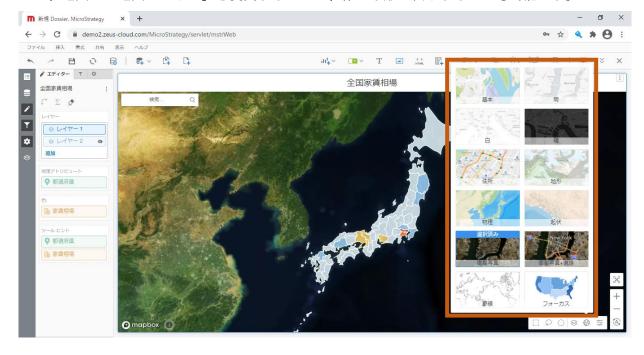
「書式」>「図形書式設定」>「塗りつぶし」を選択することで地図上の色の塗分け設定ができます。



レイヤーを追加することで異なる粒度に表示を切り替えることもできます。

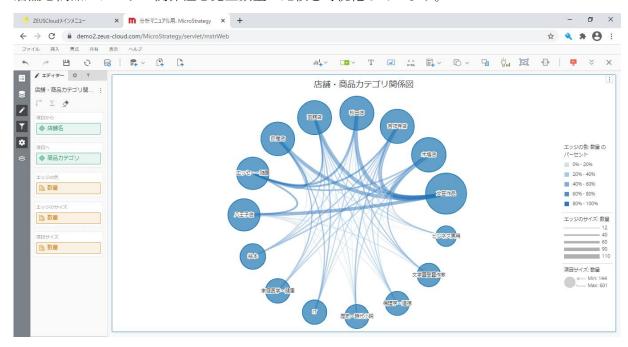


また、地図は「地図スタイル」を変更することで、様々な形で表示することも可能です。



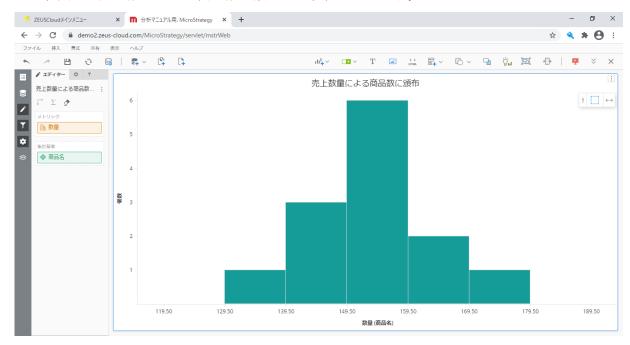
# 10.7 ネットワーク

店舗と商品カテゴリの関係性と売上数量の比較を可視化しています。

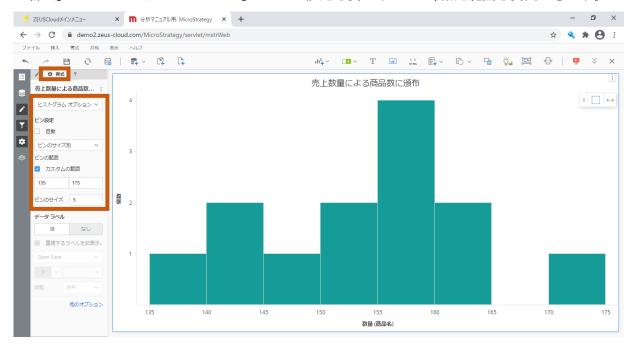


# 10.8 ヒストグラム

一定範囲内の売上数量に入る商品数の頒布を可視化しています。

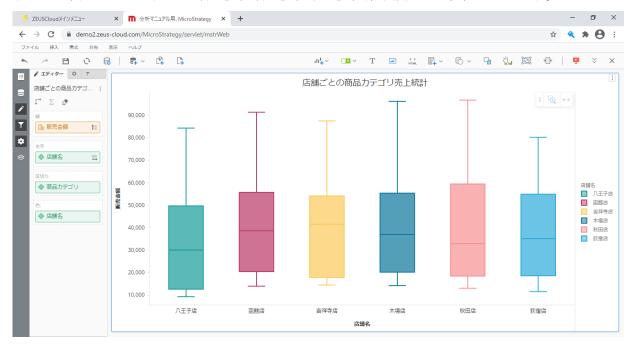


「書式」>「ヒストグラムオプション」のビンの設定を変えることで、指定範囲を変更できます。



## 10.9 ボックスプロット

店舗別の商品カテゴリ売上の最大値、最小値、平均値、標準偏差を可視化しています。



## 10.10 ウォーターフォール

商品カテゴリの全体売上に対する各項目の割合を可視化しています。

